

令和 5 年度

事 業 年 報

一般社団法人鶴岡地区医師会
荘内地区健康管理センター

目 次

[1] 概要	1
[2] 令和5年度事業実績	
(1) 医師の診察回数	4
(2) 各種健診別受診者数の年次推移と本年度の月別受診者数	5
(3) 各種健診	
1) 人間ドック	6
2) 全国健康保険協会 生活習慣病予防健診	8
3) 定期健康診断（労働安全衛生法に基づく）	10
4) 特定健康診査	12
5) 後期高齢者健康診査	13
6) 若年者健康診査	14
(4) 特定保健指導	15
(5) 呼吸器検診	17
(6) がん検診	19
1) 胃がん検診	20
付) 胃の健康度診断（ヘリコバクターピロリ血清抗体・血清ペプシノゲン）	22
2) 大腸がん検診	24
3) 肺がん検診	26
付) C T 肺がん検診	29
4) 乳がん検診	31
付) 乳房超音波検査	33
5) 子宮がん検診	34
6) 前立腺がん検診	36
(7) 腹部超音波検査	38
(8) 循環器系検査	
1) 心電図検査	39
2) 眼底検査	40
3) B N P 検査	41
4) 血圧脈波検査	42
(9) 骨粗しょう症検診（骨密度測定）	43

(10) CT内臓脂肪測定	44
(11) 甲状腺ホルモン検査(TSH・FT4)	45
(12) 糖尿病精密検査	46
(13) 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査(Lox-index)	47
(14) アレルギー検査(MAST48mix)	47
(15) 受診後の指導	47
(16) 運動指導	47
(17) 学生徒健診	48
(18) 一般健康診断(クリニック)	50
(19) ストレスチェック	50
(20) 風しん抗体検査	50
(21) 受託検査	
1) 一般臨床検査	51
2) 共同利用検査	53
3) 放射線漏洩線量測定	53
4) 乳幼児健康診査	53
(22) 臨床検査精度管理調査	53
[3] 令和5年度トピックス	54
[4] 令和5年度学術活動業績報告	54
[5] 鶴岡地区医師会 関連施設	55

[1] 概 要

一般社団法人 鶴岡地区医師会 沿革

大正 13 年 12 月	鶴岡市医師会設立
昭和 22 年 12 月	社団法人鶴岡市医師会設立
昭和 28 年 7 月	鶴岡医師会館 増改築完成
昭和 30 年 3 月	西田川郡医師会 鶴岡市医師会へ合併 鶴岡市西田川郡医師会と改称
昭和 34 年 3 月	鶴岡准看護学院開設
昭和 44 年 4 月	臨床検査センター開設
昭和 48 年 4 月	東田川郡医師会の一部を合併 鶴岡地区医師会と改称
昭和 59 年 4 月	荘内地区健康管理センター開設
平成 8 年 4 月	訪問看護ステーションハローナース開設
平成 12 年 4 月	在宅サービスセンター開設 訪問リハビリテーション事業および訪問入浴事業開始
平成 13 年 3 月	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院の管理・運営受託
平成 14 年 1 月	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院デイケア開設
平成 17 年 5 月	介護老人保健施設みづばしょう開設
平成 17 年 11 月	ケアプランセンターふきのとう開設
平成 18 年 4 月	在宅介護支援センターふきのとう開設
平成 21 年 4 月	地域包括支援センターつくし開設
平成 23 年 4 月	新荘内地区健康管理センター開設 鶴岡地区医師会館改修工事完成
平成 25 年 4 月	一般社団法人鶴岡地区医師会と改称 地域医療連携事業開始
令和 5 年 3 月	鶴岡准看護学院閉校

一般社団法人 鶴岡地区医師会

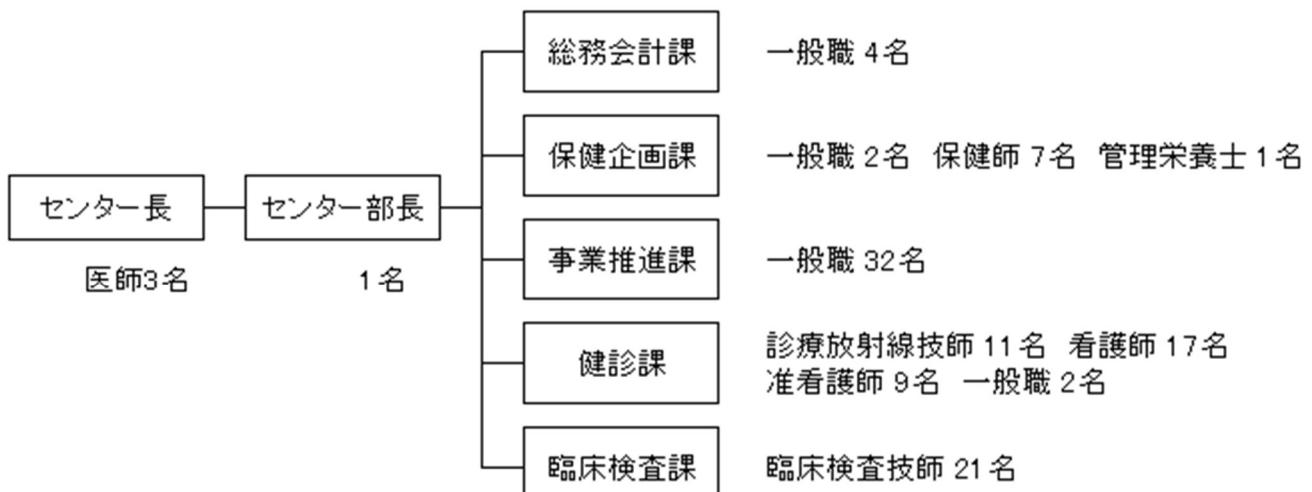
荘内地区健康管理センター



所在地	〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町 1-45			
連絡先	電話番号	0235-22-6445	FAX 番号	0235-25-2216
ホームページアドレス	https://tsuruoka-k2c.jp/			
メールアドレス	kenshin@tsuruoka-med.jp			

組織・職員構成

R5. 4. 1 現在



総人数 110名
※臨時・パートを含む

主な設備

R6.3.31現在

品目	数	品目	数	品目	数
胸部撮影装置 施設内	1	超音波診断装置	5	グリコヘモグロビン分析装置	2
胸部撮影装置 検診車	2	血圧脈波検査装置	1	全自動尿分析装置	1
胃部撮影装置 施設内	3	尿分析器	2	顕微鏡	3
胃部撮影装置 検診車	2	体脂肪計	2	超音波洗浄器	1
乳房撮影装置	2	体成分分析器	1	検体前処理分注装置	1
C T 装置	1	自動身長計付体組成計	1	定温乾燥器	1
ポータブルX線撮影装置	1	デジタル身長計	1	遠心機	4
骨密度測定装置	1	身長・体重計	2	超低温フリーザー	1
眼圧計	1	体重計	2		
眼底カメラ 施設内	1	自動採血管準備装置	1		
眼底カメラ 検診車	2	乾熱滅菌器	1		
聴力計	4	生化学自動分析装置	2		
視力計	6	全自動化学発光酵素免疫装置	1		
自動血圧計	6	多項目自動血球分析装置	2		
自動解析付心電計	7	便潜血測定装置	1		
オートスパイロメータ	1	グルコース分析装置	2		

車両配置

R6.3.31現在

車名	台数	車名	台数
循環器検診車	1	ポータブルX線撮影装置運搬用車	1
胸部X線検診車	1	送迎車マイクロバス	1
胃部X線検診車	1	集配車	3
胸部・胃部X線併用検診車	1	社用車	3
除雪車	1		

[2] 令和5年度事業実績

はじめに

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類感染症に移行されたが、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人間ドック学会を含む健診8団体で作成した「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策」をもとに基本的な感染対策を行ながら健診を実施した。

検査項目では前年度に引き続き肺機能検査を中止した。

(1) 医師の診察回数

本年度、医師の診察を伴う各種健診は289日間で1,396回行われた。

診察担当医師の内訳は、センター医師3名による935回、病院と診療所の医師24名による461回であった。

健診種目別、時間帯別、回数の内訳は表1のとおりである。

表1 令和5年度各健診実施回数および医師診察回数

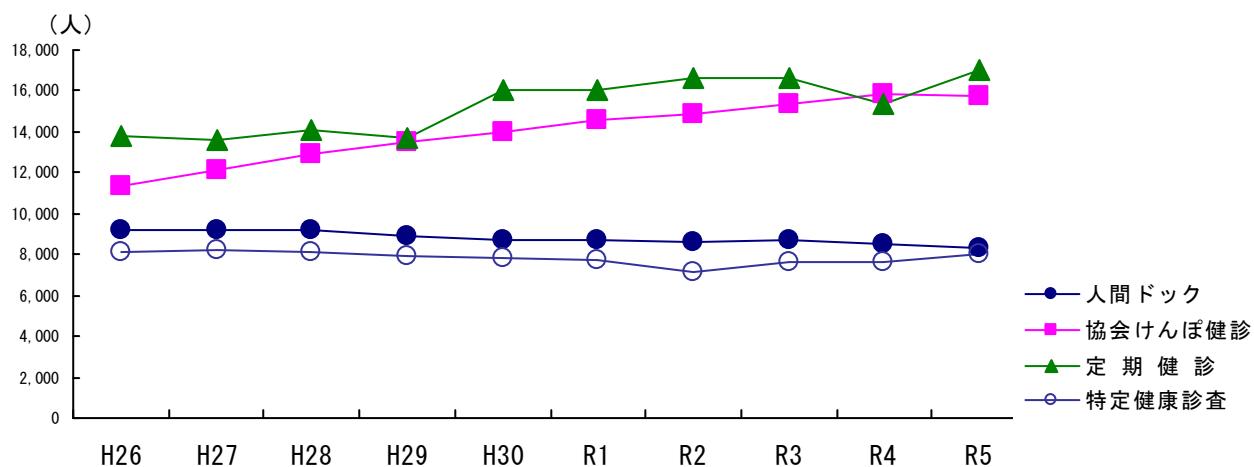
単位：回

区分		早朝	午前	午後	計
施設外	特定健康診査	92	1	42	135
	事業所健診	55	21	35	111
	若年者健康診査	1	2	7	10
施設内	人間ドック・協会けんぽ健診	83	479	0	562
	特定健康診査	3	8	8	19
	事業所健診	38	15	146	199
	若年者健康診査	0	0	1	1
	子宮がん検診	48	268	18	334
	一般健康診断	0	0	25	25
合計		320	794	282	1,396

(2) 各種健診別受診者数の年次推移と本年度の月別受診者数

	健診別受診者数の年次推移										単位：人
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
人間ドック	9,149	9,150	9,187	8,907	8,727	8,663	8,598	8,739	8,481	8,338	
協会けんぽ生活習慣病予防健診	11,356	12,103	12,929	13,537	14,031	14,617	14,906	15,342	15,846	15,756	
定期健康診断	13,754	13,558	14,093	13,709	16,030	16,244	16,641	16,661	16,692	17,068	
特定健康診査 後期高齢者健診	8,153	8,224	8,114	7,914	7,837	7,761	7,168	7,623	7,674	7,973	
合 計	42,412	43,035	44,323	44,067	46,625	47,285	47,313	48,365	48,693	49,135	

平成 30 年度より定期健康診断に『特定業務従事者健診』を加えた



令和 5 年度 健診別月別受診者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
人間ドック	1,212	963	930	975	751	732	726	558	674	333	307	177	8,338
協会けんぽ生活習慣病予防健診	646	1,021	1,670	1,471	1,363	1,915	2,090	1,664	1,174	1,143	1,251	348	15,756
定期健康診断	1,154	1,658	2,181	1,835	1,894	1,664	1,649	1,238	829	769	722	1,475	17,068
特定健康診査 後期高齢者健診	942	768	1,124	835	680	795	639	976	548	225	433	8	7,973

(3) 各種健診

1) 人間ドック

人間ドックの対象者は地域住民（鶴岡市・三川町）と事業所（職域）の従業員などである。

本年度の受診者数は8,338人（男性4,021人、女性4,317人）で、前年度の8,481人より143人減少した。その内訳は、地域住民の受診者数は6,523人で、前年度の6,676人より153人減少し、職域・その他の受診者数は1,815人で、前年度の1,805人より10人増加した。

表1 地域・職域別受診者数

単位：人

		男 性	女 性	合 計
地 域 住 民	鶴 岡 市	2,685	3,258	5,943
	三 川 町	268	312	580
職域・その他		1,068	747	1,815
合 計		4,021	4,317	8,338

図1 年代別受診者数

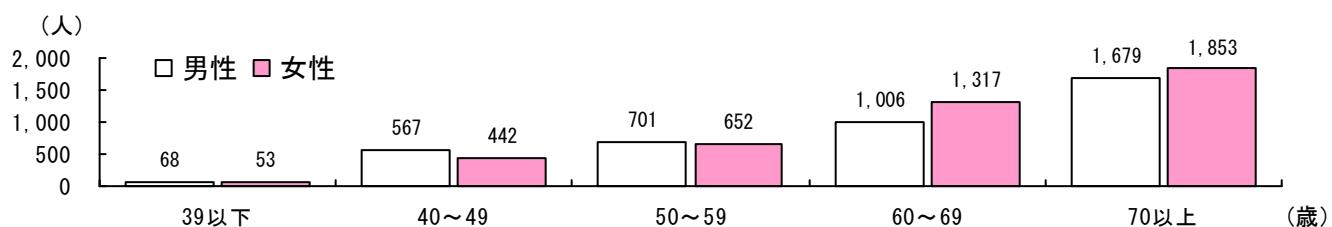


表2 人間ドックの検査項目

内 科 診 察	医師による打聴診等の診察
身 体 計 測	身長・体重・B M I ・腹囲
眼 科 検 查	視力検査・眼圧検査
聴 力 検 查	自動オージオメータ
呼 吸 器 系	胸部エックス線検査(2方向)・肺機能検査
循 環 器 系	心電図検査・眼底検査(両眼)・血圧測定
肝・すい臓検査	A S T・A L T・γ-G T・A L P・総ビリルビン・H B s 抗原・アミラーゼ
脂 質 検 査	総コレステロール・中性脂肪・H D Lコレステロール・L D Lコレステロール
代 謝 系	総蛋白・アルブミン・空腹時血糖・尿糖・ヘモグロビンA1c・尿酸
腎 尿 路 系	尿蛋白・尿潜血・尿沈渣・クレアチニン・eG F R・尿比重・P H
血 液 一 般	赤血球数・白血球数・血色素量・血小板数・末梢血液像・ヘマトクリット・M C V・M C H・M C H C R F・C R P・血液型(A B O・R h)：初回のみ
消 化 器 系	胃部エックス線検査・便潜血反応(2日法)
子 宮 がん 検 診	視診・内診・子宮頸部細胞診検査
乳 がん 検 診	マンモグラフィ
オ プ シ ョ ン 項 目	C T 肺がん検診
	C T 内臓脂肪測定
	腹部超音波検査※職域ドックは含まれる
	前立腺がん検査(P S A血液検査)
	乳房超音波検査(乳がん検診への追加)
	骨粗しょう症検診(D E X A法・骨密度測定)
	B N P 検査(心臓の状態をみる血液検査)
	喀痰細胞診検査(蓄痰3日法)
	胃の健康度診断(ヘリコバクターピロリ血清抗体・血清ペプシノゲン)
	血圧脈波検査
	C型肝炎ウイルス検査
	甲状腺ホルモン検査(T S H・F T 4)

※肺機能検査はコロナ感染拡大防止のため中止

表3 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受 診 者 数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
身体計測	8,338	4,021	4,317	2,022	2,720	0	0	1,999	1,597	0	0	0
血 壓	8,338	4,021	4,317	1,274	1,814	0	0	415	448	577	575	1,755
眼科検査	7,886	3,874	4,012	2,209	2,258	0	0	5	3	1,174	996	486
眼 底	7,799	3,827	3,972	3,341	3,569	118	99	29	42	243	176	96
聴 力	6,916	3,263	3,653	1,991	2,896	0	0	201	143	1,052	585	19
肺 機能	4	1	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0
腎・尿路	8,338	4,021	4,317	2,409	2,306	363	418	690	791	474	702	85
肝・すい臓	8,338	4,021	4,317	1,643	2,760	0	1	1,607	1,235	705	278	66
脂 質	8,338	4,021	4,317	1,066	939	0	0	1,123	843	928	1,096	904
代謝系	8,338	4,021	4,317	490	822	86	30	2,205	2,960	294	187	946
血液一般	8,338	4,021	4,317	2,347	2,775	851	634	408	485	392	363	23
心電図	8,330	4,019	4,311	2,352	2,906	706	646	127	39	437	525	397
												195

表4 オプション検査別年次推移受診者数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
CT肺がん検診	567	612	568	561	449
CT内臓脂肪測定	473	502	461	402	2,395
腹部超音波検査	4,364	4,317	4,333	3,461	3,972
前立腺がん検査	1,223	1,204	1,230	1,241	1,112
乳がん検診	3,083	3,078	2,992	2,852	2,777
乳房超音波検査	114	102	89	78	66
子宮がん検診	3,261	3,086	3,093	2,936	2,865
骨粗しょう症検診	1,208	1,059	1,097	1,041	2,844
BNP検査	774	786	820	767	599
喀痰検査	43	45	51	50	42
胃の健康度診断	702	482	200	159	126
血圧脈波検査	375	372	339	236	318
C型肝炎ウイルス検査	68	80	59	74	51
甲状腺ホルモン検査	653	362	376	345	232

2) 全国健康保険協会 生活習慣病予防健診

本年度の受診者数は 15,756 人で、前年度の 15,846 人より 90 人減少した。1,779 事業所が受診し、86 事業所が新規に本健診を受診した。そのうち検診車による巡回健診の受診者数は 744 人で、前年度の 1,124 人より 380 人減少した。

若年者を対象にした子宮がん検診の本年度の受診者は 358 人で、前年度の 390 人より 32 人減少した。

表 1 健診種別受診者数

単位：人

	男 性	女 性	合 計
一 般 健 診 (35 歳 以上)	7,715	7,023	14,738
付 加 健 診 (40 歳・50 歳)	295	365	660
子宮がん単独検診 (20 歳～38 歳)		358	358
合 計	8,010	7,746	15,756

図 1 年代別受診者数

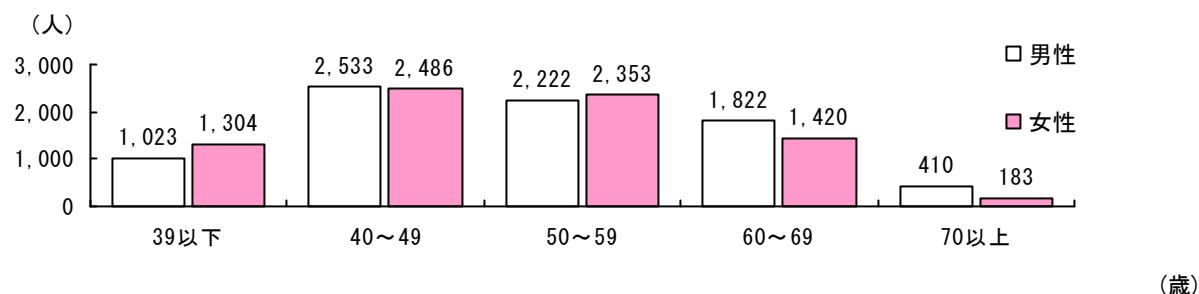


表 2 一般健診および付加健診の検査項目

一 般 健 診	内 科 診 察	医師による打聴診等の診察
	身 体 計 測	身長・体重・B M I・腹囲
	視 力 検 查	
	聽 力 検 查	自動オージオメータ
	呼 吸 器 系	胸部エックス線検査(直接撮影)
	循 環 器 系	心電図検査・血圧測定
	肝 機能 検 查	A S T・A L T・γ-G T・A L P
	代 謝 系	総コレステロール・中性脂肪・H D Lコレステロール・L D Lコレステロール 空腹時血糖・尿糖(空腹時)・尿酸
	消 化 器 系	胃部エックス線検査(直接撮影)・便潜血反応(2日法)
	腎 尿 路 系	尿蛋白・尿潜血・クレアチニン・e G F R
	血 液 一 般	赤血球数・白血球数・血色素量・ヘマトクリット
	付 加 健 診 (当該年度 40 歳及び 50 歳の希望者)	一般健診項目 眼底検査(両眼)・肺機能検査・腹部超音波検査・尿沈渣 血小板数・末梢血液像・総蛋白・アルブミン・総ビリルビン アミラーゼ・L D

※肺機能検査はコロナ感染拡大防止のため中止

表3 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受 診 者 数		異常なし (1)		わずかな異常 (2)		要観察 (3)		要精検 (4,5)		治療中 (6)	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
身体計測	15,397	8,009	7,388	3,941	4,671	0	0	4,066	2,703	0	0	0
視 力	15,347	7,992	7,355	6,093	5,760	0	0	6	8	1,593	1,247	300
聴 力	15,331	7,982	7,349	6,198	6,852	0	0	277	115	1,475	325	32
血 壓	15,398	8,010	7,388	3,437	4,557	0	0	1,042	765	1,468	916	2,061
脂 質	15,398	8,010	7,388	2,230	2,797	0	0	2,294	1,775	2,468	1,862	1,016
肝機能等	15,398	8,010	7,388	3,946	5,761	3	9	2,457	1,244	1,520	328	82
血 糖	15,398	8,010	7,388	3,545	5,285	6	1	3,432	1,767	371	101	654
尿 酸	15,398	8,010	7,388	5,753	7,212	1,077	95	401	42	110	11	667
腎・尿路	15,398	8,010	7,388	6,282	5,356	285	404	772	724	595	842	74
血液一般	15,398	8,010	7,388	6,720	5,524	323	172	494	798	445	715	26
心電図	15,375	8,007	7,368	5,685	5,750	1,264	942	146	36	655	526	257
眼 底	2,407	1,255	1,152	1,168	1,092	11	7	9	7	55	38	12
肺 機 能	512	203	309	180	296	0	0	11	2	8	4	3

表4 オプション検査別年次推移受診者数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
C T 肺がん検診	457	466	459	454	402
C T 内臓脂肪測定	449	433	431	387	513
腹部超音波検査	2,965	3,550	3,439	3,598	3,597
前立腺がん検査	1,032	939	967	1,036	980
乳がん検診	4,002	3,981	4,058	4,114	4,102
乳房超音波検査	815	840	819	725	605
子宮がん検診	3,785	3,647	3,750	3,772	3,736
骨粗しょう症検診	490	483	442	431	564
B N P 検査	799	790	888	811	729
喀痰検査	27	25	27	32	33
胃の健康度診断	953	1,072	391	301	267
血圧脈波検査	364	326	339	153	342
肝炎ウイルス検査(協会)	188	323	239	202	127
甲状腺ホルモン検査	686	550	509	503	429

3) 定期健康診断（労働安全衛生法に基づく）

本年度の実施事業所数は1,455で、その中で新規事業所数は102であった。

受診者数は17,068人で、前年度の16,692人より376人増加した。

なお受診者の職種によっては有機溶剤健康診断や鉛健康診断などの特殊健康診断を実施している。その内容については表4に示した。

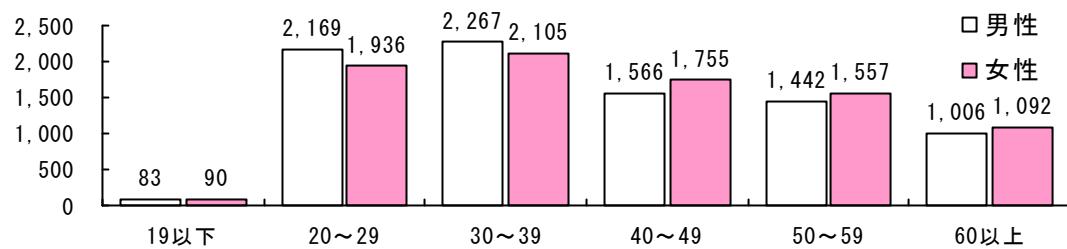
表1 健診種別受診者数

単位：人

	男性	女性	合計
定期A健診	697	665	1,362
定期B健診	2,919	2,963	5,882
定期C健診	1,969	2,060	4,029
総合健診	1,079	1,631	2,710
特定業務従事者健診	1,869	1,216	3,085
合計	8,533	8,535	17,068

図1 年代別受診者数

(人)



(歳)

表2 定期健康診断検査項目

定期A健診	内科診察・問診（既往歴及び業務歴調査）・身体計測（身長、体重、BMI） 血圧測定・視力検査・聴力検査・尿検査（糖・蛋白）・胸部エックス線検査
定期B健診	定期A健診項目 脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） 肝機能（AST、ALT、γ-GT）・血液一般（赤血球数、血色素量） 血糖・心電図・腹囲測定（BMI 20以上で測定）
定期C健診	定期B健診項目・ヘモグロビンA1c ※腹囲測定は全員測定
総合健診	健康保険組合、共済組合等で定期健診にがん検診等が追加されている健診
特定業務従事者健診	内科診察・問診（既往歴及び業務歴調査）・身体計測（身長、体重、BMI） 血圧測定・視力検査・聴力検査・尿検査（糖・蛋白） 脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） 肝機能（AST、ALT、γ-GT）・血液一般（赤血球数、血色素量） 血糖・心電図・腹囲測定

表3 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受診者数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
身体計測	17,063	8,529	8,534	4,712	5,684	0	0	3,817	2,850	0	0	0
視 力	16,659	8,300	8,359	6,614	6,627	0	0	4	3	1,524	1,484	158
聴 力	16,616	8,275	8,341	7,470	7,955	0	1	90	70	690	271	25
血 壓	17,066	8,531	8,535	4,701	6,202	0	0	1,321	779	1,424	787	1,085
脂 質	15,603	7,703	7,900	3,215	4,274	0	0	2,084	1,663	1,868	1,435	536
肝機能等	15,272	7,461	7,811	4,174	6,430	40	95	1,924	921	1,282	343	41
糖 検 査	17,058	8,527	8,531	5,507	6,072	10	7	2,389	2,167	261	123	360
尿 酸	5,970	2,784	3,186	2,049	3,121	378	30	138	29	49	2	170
腎・尿路	17,056	8,526	8,530	7,930	7,689	27	28	264	327	252	444	53
血液一般	15,486	7,602	7,884	6,901	5,990	147	112	277	1,043	260	605	17
心 電 図	14,429	7,010	7,419	5,513	5,981	880	882	79	45	412	459	126
眼 底	4,106	1,705	2,401	1,585	2,310	19	8	7	7	78	55	16
												21

表4 特殊健康診断実施状況（延べ人数） 単位：人

	受診者数
有機溶剤健康診断	1,186
鉛健康診断	265
特定化学物質健康診断	1,754
じん肺健康診断	443
石綿健康診断	467
騒音健康診断	246
電離放射線健康診断	382

4) 特定健康診査

特定健康診査は、40歳から74歳の人間ドック・生活習慣病予防健診の中でも実施しているが、ここでは巡回健診等の実施状況について表1、表2に示した。

本年度の受診者数は5,153人で前年度の4,990人より163人増加した。

表1 年代別受診者数

単位：人

	男性	女性	受診者数
40～49歳	221	342	563
50～59歳	242	466	708
60～69歳	744	1,257	2,001
70～74歳	756	1,125	1,881
合計	1,963	3,190	5,153

表2 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受診者数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精査 (D、E)		治療中 (F)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
身体計測	5,153	1,963	3,190	1,032	2,375	0	0	931	815	0	0	0
血圧	5,153	1,963	3,190	539	1,203	0	0	238	363	398	705	788
脂質	5,150	1,962	3,188	620	858	0	0	576	690	441	857	325
肝機能	5,150	1,962	3,188	1,171	2,646	0	0	517	391	244	126	30
糖検査	5,153	1,963	3,190	799	1,525	5	4	762	1,411	122	82	275
尿検査	5,149	1,962	3,187	1,835	3,089	0	0	53	35	35	17	39
貧血	4,724	1,872	2,852	1,523	2,272	0	0	197	410	143	141	9
心電図	4,666	1,865	2,801	1,105	1,942	322	370	50	26	256	393	132
眼底	3,956	1,634	2,322	1,480	2,152	25	36	14	11	108	113	7
腎機能	4,415	1,862	2,553	1,433	2,014	0	0	282	263	141	271	6
												5

表3 特定健康診査検査項目

必須項目	理学的検査・身長・体重・BMI・腹囲・血圧 肝機能検査（AST・ALT・γ-GT） 血中脂質検査（中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール） 血糖検査（空腹時）又はヘモグロビンA1c検査 尿検査（糖・蛋白）
詳細項目	貧血検査（赤血球・血色素量・ヘマトクリット） 心電図検査、眼底検査（両眼）、クレアチニン（eGFR）

5) 後期高齡者健康診查

後期高齢者健康診査は、センター内では人間ドックの中でも実施しているが、ここでは巡回健診での実施状況について表1、表2に示した。

なお本年度の受診者数は2,820人で前年度の2,684人より136人増加した。

表 1 年代別受診者数

单位：人

	男 性	女 性	受診者数
65~74 歳	29	27	56
75~79 歳	440	701	1,141
80 歳以上	618	1,005	1,623
合 計	1,087	1,733	2,820

表2 各検査の受診者数と判定区分

单位：人

6) 若年者健康診査

40歳未満の鶴岡市・三川町在住者を対象として実施している。
本年度の受診者数は709人で、前年度の762人より53人減少した。

表1 年代別受診者数

単位：人

	男性	女性	受診者数
～19歳	7	3	10
20～24歳	33	16	49
25～29歳	46	65	111
30～34歳	98	114	212
35～39歳	139	188	327
合計	323	386	709

表2 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受診者数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
身体計測	709	323	386	182	286	0	0	141	100	0	0	0
血圧	709	323	386	195	328	0	0	57	29	56	25	15
脂質	706	321	385	129	237	0	0	103	103	79	44	10
肝機能	706	321	385	182	344	0	0	76	26	63	15	0
糖検査	709	323	386	228	294	0	1	80	82	8	5	7
尿検査	709	323	386	310	378	0	0	7	6	3	2	3
貧血	706	321	385	314	289	0	0	5	60	2	33	0
心電図	709	323	386	264	315	32	35	1	0	26	31	0
眼底	59	25	34	22	34	1	0	0	0	1	0	1
腎機能	706	321	385	315	376	0	0	0	0	6	9	0

表3 検査項目

検査項目	理学的検査・身長・体重・BMI・腹囲・血圧 肝機能検査（AST・ALT・γ-GT） 血中脂質検査（中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール） 血糖検査（空腹時）又はヘモグロビンA1c検査 尿検査（糖・蛋白） 貧血検査（赤血球・血色素量・ヘマトクリット） 心電図検査、眼底検査（両眼）、クレアチニン（eGFR）
------	--

(4) 特定保健指導

本年度の特定保健指導初回面接実施者数は1,301人で、前年度の1,296人より5人増加した。

特定保健指導実施状況を表1に示した。支援レベル別では動機づけ支援が764人、積極的支援が537人であった。評価のできた者は動機付け支援が758人(99.2%)、積極的支援が292人(54.4%)であった。

なお、積極的支援のプログラムは表2に示した。

評価ができた者の腹囲・体重の変化、改善率を表3に示した。体重の改善率、腹囲の改善率とともに、動機付け支援より積極的支援の方が高い結果となった。

評価時に希望者に対し血液検査等(フォローアップ健診)を実施した。本年度の受診者数は225人(男性137人、女性88人)であった。

表1 特定保健指導実施状況

単位：人

区分	特定保健指導初回面接実施者数												
	鶴岡市・三川町国保			協会けんぽ			その他健保組合			動機付け支援合計	積極的支援合計		
	動機付け支援	積極的支援	計	動機付け支援	積極的支援	計	動機付け支援	積極的支援	計				
男性	40～44歳	11	12	23	36	76	112	7	9	16	54	97	151
	45～49歳	10	15	25	28	67	95	6	17	23	44	99	143
	50～54歳	6	11	17	35	59	94	12	19	31	53	89	142
	55～59歳	6	13	19	19	36	55	3	15	18	28	64	92
	60～64歳	7	12	19	12	27	39	3	5	8	22	44	66
	65～69歳	50	0	50	29	0	29	6	0	6	85	0	85
	70～74歳	56	0	56	23	0	23	1	0	1	80	0	80
	計	146	63	209	182	265	447	38	65	103	366	393	759
女性	40～44歳	5	4	9	45	24	69	8	0	8	58	28	86
	45～49歳	5	1	6	54	21	75	13	7	20	72	29	101
	50～54歳	2	5	7	52	30	82	16	6	22	70	41	111
	55～59歳	7	2	9	25	16	41	2	8	10	34	26	60
	60～64歳	13	4	17	26	9	35	4	7	11	43	20	63
	65～69歳	33	0	33	18	0	18	4	0	4	55	0	55
	70～74歳	58	0	58	4	0	4	4	0	4	66	0	66
	計	123	16	139	224	100	324	51	28	79	398	144	542
合計		269	79	348	406	365	771	89	93	182	764	537	1,301
評価実施数 (%)									758	292	880	(99.2)	(54.4)
												(67.6)	

※初回面接時の個別支援のみの依頼があり、1人に実施した。

表2 積極的支援プログラム

【180 ポイントA(個別面談あり)】

支援の種類	回	実施時期	支援手段
初回面接	1	0	個別支援
継続支援	2	2週間後	電話
	3	1ヶ月後	個別支援
	4	2ヶ月後	電話
	5	3ヶ月後	e-mail または手紙

【180 ポイントB(個別面談なし)】

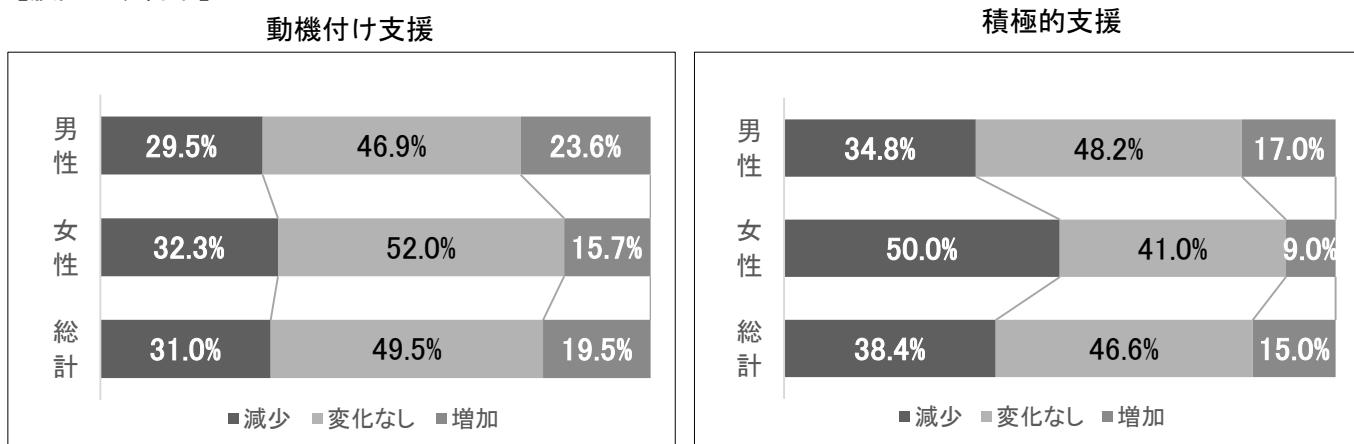
支援の種類	回	実施時期	支援手段
初回面接	1	0	個別支援
継続支援	2	2週間後	e-mail
	3	1ヶ月後	電話
	4	2ヶ月後	e-mail
	5	2ヶ月半後	電話
	6	3ヶ月半後	e-mail

表3 特定保健指導改善状況

【腹囲、体重の変化】

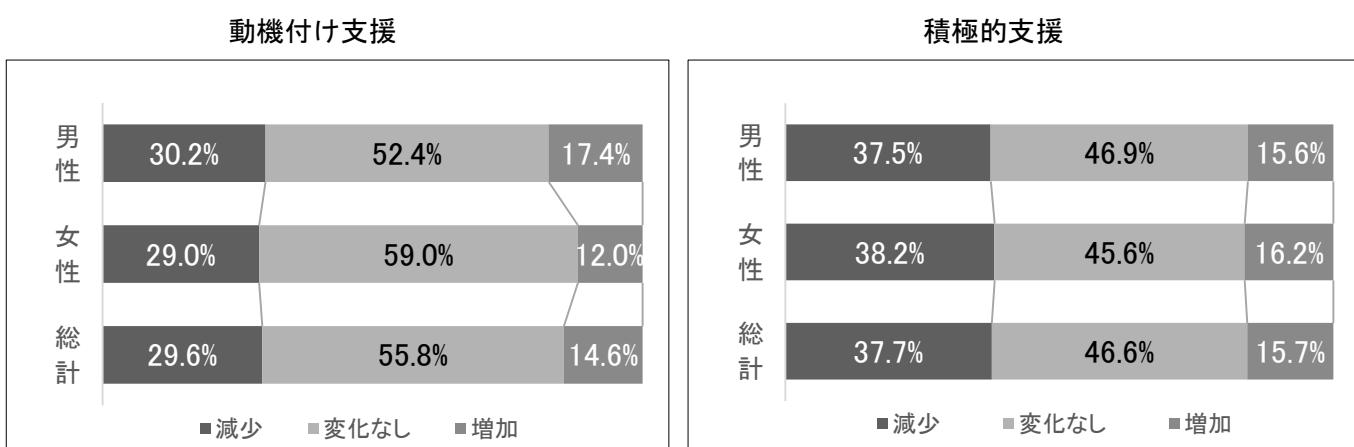
	平均	
	動機付け支援	積極的支援
腹囲(cm)	-0.2	-1.1
体重(kg)	-0.4	-0.8

【腹囲の改善率】



※減少≤-1.1 cm 変化なし±1.0 cm 増加≥1.1 cm とした

【体重の改善率】



※減少≤-1.1 kg 変化なし±1.0 kg 増加≥1.1 kg とした

(5) 呼吸器検診

山形県医師会の呼吸器検診中央委員会の規定によると、「呼吸器検診」は、健康増進法に基づく肺がん検診、感染症法に基づく結核検診、労働安全衛生法に基づく定期健康診断の対象者に行うこととされている。本項でもこれに準じ、後述の「肺がん検診」の受診者も含めた報告とする。

本年度の受診者数は47,073人で、前年度の46,984人より89人増加した。

表1は健診区分別の内訳であるが、要精検者数は1,026人（要精検率2.2%）、精検受診者数は771人（精検受診率75.1%）であった。なお、表1の詳細を表2に示した。

肺がん発見数は13人で、一般住民から9人、職域・その他から4人発見された。図1に男女別の年代別受診者数・がん発見率を示した。

表1 健診区分別の内訳

単位：人（）内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
一般住民	14,293	509 (3.6)	428 (84.1)	9 (0.06)
職域・その他	30,604	386 (1.3)	294 (76.2)	4 (0.01)
福祉施設等の入居者※	1,364	131 (9.6)	49 (37.4)	0 (0.00)
学童・生徒	812	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)
合計	47,073	1,026 (2.2)	771 (75.1)	13 (0.03)

※福祉施設等の入居者のうち743人はポータブル撮影を行った。

図1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

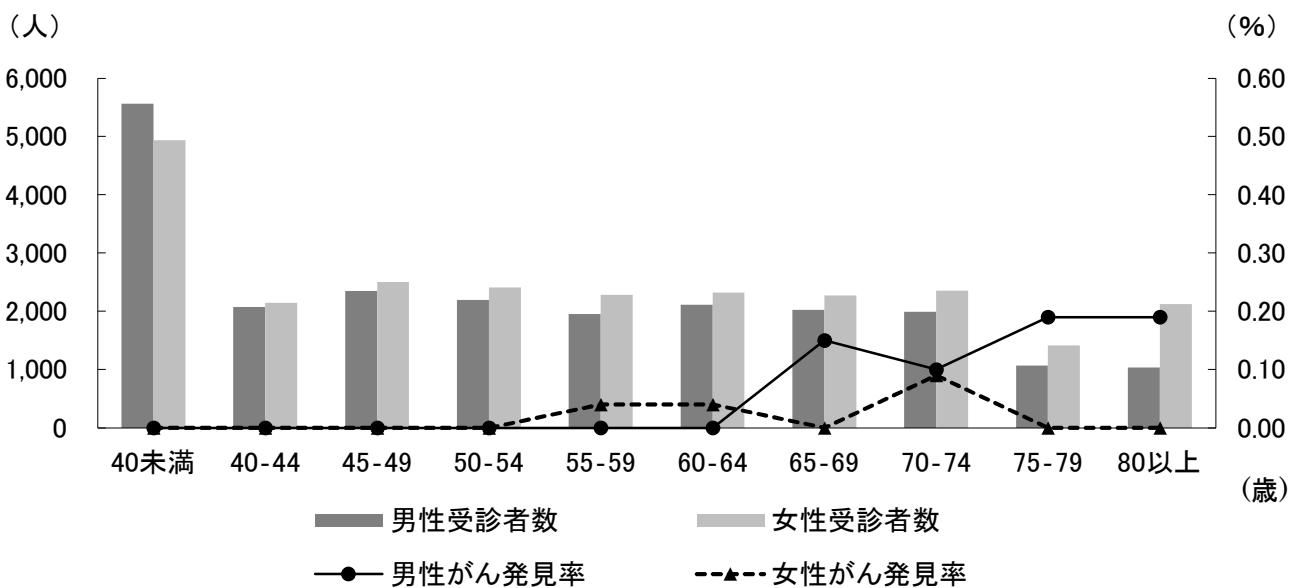


表2 呼吸器検診成績表

令和6年12月末現在

性別	年齢区分	X線検査受診者数	X線最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)					E判定に対する 精検受診者数	精検確定結果 (回報書による)					原精発性未肺癌受診未患者数	D判定に対する 精検受診者数	D判定から肺 癌確診患者数	治療を要する結核患者数
			a) A 再撮影不能	b) B 異常所見を認めない	c) C 異常所見を認めるが 精査不要	d) D 肺癌以外の疾患の精査	e) E 肺癌に対する精査		a) 精検完了者数	b) 原発性肺癌確診患者数	c) 悪性新生物の患者数	d) 新生児他の患者数					
男 性	40歳未満	5,558	0	5,135	396	14	13	9	9	0	0	1	4	8	0	0	
	40~44歳	2,071	0	1,737	312	5	17	14	14	0	1	0	3	3	0	0	
	45~49歳	2,347	0	1,882	440	8	17	13	13	0	0	0	4	5	0	0	
	50~54歳	2,190	0	1,723	434	5	28	16	16	0	0	1	12	3	0	0	
	55~59歳	1,949	0	1,485	420	15	29	21	21	0	0	1	8	12	0	0	
	60~64歳	2,112	0	1,558	501	14	39	27	27	0	1	0	12	8	0	0	
	65~69歳	2,023	0	1,412	533	21	57	50	49	2	1	1	8	14	1	0	
	70~74歳	1,988	0	1,314	586	26	62	52	50	2	0	3	12	25	0	1	
	75~79歳	1,065	0	620	386	14	45	35	35	2	1	1	10	12	0	0	
	80歳以上	1,033	0	534	393	39	67	44	42	2	0	0	25	26	0	0	
女 性	男性計	22,336	0	17,400	4,401	161	374	281	276	8	4	8	98	116	1	1	
	40歳未満	4,932	0	4,714	198	5	15	13	13	0	0	0	2	4	0	0	
	40~44歳	2,143	0	1,894	238	0	11	9	9	0	0	0	2	0	0	0	
	45~49歳	2,498	0	2,090	380	9	19	17	17	0	0	0	2	9	0	0	
	50~54歳	2,409	0	1,922	456	8	23	21	21	0	0	1	2	3	0	0	
	55~59歳	2,281	0	1,712	534	13	22	19	19	1	0	0	3	10	0	0	
	60~64歳	2,321	0	1,598	677	12	34	30	30	1	2	0	4	10	0	0	
	65~69歳	2,268	0	1,538	668	18	44	40	40	0	1	0	4	13	0	0	
	70~74歳	2,350	0	1,604	676	14	56	54	52	2	1	0	4	13	0	0	
	75~79歳	1,411	0	944	416	15	36	29	28	0	0	0	8	9	0	0	
男女計	80歳以上	2,124	0	1,280	707	49	88	48	42	0	2	1	46	23	0	0	
	男女計	47,073	0	36,696	9,351	304	722	561	547	12	10	10	175	210	1	1	

前年度合計	46,984	0	37,229	8,651	319	785	634	627	18	3	12	158	226	1	1
-------	--------	---	--------	-------	-----	-----	-----	-----	----	---	----	-----	-----	---	---

(6) がん検診

臓器別受診者数の年次推移と臓器別がん発見数の年次推移は表1、表2のとおりである。

表1 臓器別受診者数の年次推移

単位：人

	胃がん 検診	大腸がん 検診	肺がん検診		乳がん検診		子宮がん 検診	前立腺 がん検診
				CT 検査		超音波 検査		
平成 26 年度	26,655	31,703	18,940	973	7,517	237	7,507	3,205
平成 27 年度	26,588	32,404	18,626	1,090	8,029	405	7,910	3,333
平成 28 年度	26,973	33,229	18,421	1,074	8,472	850	8,113	3,274
平成 29 年度	26,587	32,985	17,712	1,131	8,628	1,003	8,121	3,228
平成 30 年度	26,039	33,170	17,259	1,108	8,508	1,053	8,241	3,045
令和元年度	25,693	33,609	17,080	1,098	8,524	1,080	8,405	3,376
令和 2 年度	25,299	33,614	16,233	1,160	8,582	1,105	8,170	3,283
令和 3 年度	25,723	34,301	16,675	1,144	8,591	1,083	8,318	3,337
令和 4 年度	25,623	34,462	16,349	1,119	8,636	960	8,298	3,402
令和 5 年度	25,282	34,747	16,307	950	8,522	815	8,302	3,317

※肺がん検診のX線検査とCT検査、乳がん検診のマンモグラフィと乳房超音波検査は併用で検診を実施している。

表2 臓器別がん発見数の年次推移

単位：人 () 内%

	胃がん 検診	大腸がん 検診	肺がん検診		乳がん検診		子宮がん 検診	前立腺 がん検診
				CT 検査 のみからの発見		超音波検査 のみからの発見		
平成 26 年度	40	81	9	4	16	2	7	9
平成 27 年度	41	69	17	4	17	0	15	12
平成 28 年度	26	73	12	0	19	2	9	8
平成 29 年度	29	44	18	0	15	1	4	11
平成 30 年度	32	57	7	0	13	0	4	13
令和元年度	15	56	12	3	15	0	2	15
令和 2 年度	18	58	9	1	12	1	3	14
令和 3 年度	25	60	9	1	18	2	2	23
令和 4 年度	19	54	10	3	24	1	5	22
令和 5 年度 (がん発見率)	16 (0.06)	58 (0.17)	9 (0.06)	3 (0.32)	12 (0.14)	0 (0.00)	3 (0.04)	15 (0.45)

1) 胃がん検診

本年度の受診者数は 25,282 人(男性 13,276 人、女性 12,006 人)で、前年度の 25,623 人より 341 人減少した。

地域検診・職域検診別の内訳を表 1 に、精検結果を表 2 に、詳細を表 3 に示した。胃がん発見数は地域検診の 14 人(男性 10 人、女性 4 人)と職域検診の 2 人(男性 1 人、女性 1 人)の計 16 人であった。食道がんの発見数は 3 人であった。

X 線画像診断にて慢性胃炎が認められたのは、10,755 人(男性 5,969 人、女性 4,786 人)で、全体の 42.5% であった。

男女別の年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳

単位: 人 () 内 %

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	7,882	509 (6.5)	383 (75.2)	14 (0.18)
職域検診	17,400	537 (3.1)	342 (63.7)	2 (0.01)
合 計	25,282	1,046 (4.1)	725 (69.3)	16 (0.06)

表 2 地域検診・職域検診別にみた精検結果 (延べ人数)

単位: 人

精 検 結 果	地域検診		職域検診	
	胃がん	胃がん疑い	胃ポリープ	胃潰瘍
胃がん	14	0	31	3
胃がん疑い	0	0	0	1
胃ポリープ	31	35	3	3
胃潰瘍	3	8	1	3
十二指腸潰瘍	1	0	0	0
共存潰瘍	0	0	0	0
食道がん	2	1	281	1
その他(食道がんを除く)	317	34	34	34
異常なし	34	34	34	34

図 1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

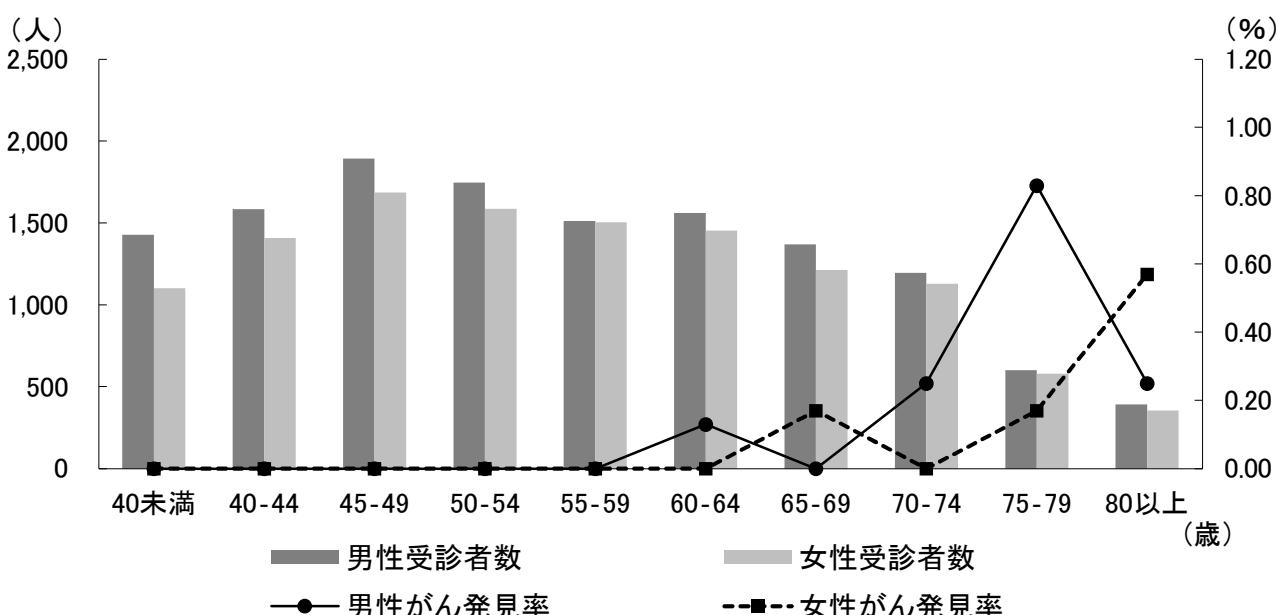


表3 胃がん検診成績表

令和6年12月末現在

※別表

区分	一次検診					精密検査															胃がん(確診)			
	A 受診者数	判定区分				C 受診者数	C/B 受診率(%)	検査項目内訳					精検結果(発見疾病延べ数)							D/B 陽性反応(%適中度)	D/A がん(%)発見率			
		異常なし	精検不要		B 要精検者数	B/A 要精検率(%)		内視鏡	直接撮影	併用	その他	生検再掲	D 胃がん	胃がん疑い	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	その他	異常なし	経過観察			
男性	40歳未満	1,427	1,117	286	1	23	1.6	16	69.6	16	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	13	3	0	
	40～44歳	1,583	1,130	421	2	30	1.9	17	56.7	17	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	14	3	0	
	45～49歳	1,893	1,220	610	3	60	3.2	32	53.3	32	0	0	0	4	0	0	4	1	2	0	24	5	0	
	50～54歳	1,746	985	699	1	61	3.5	31	50.8	31	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	28	2	0	
	55～59歳	1,512	730	697	2	83	5.5	48	57.8	48	0	0	0	6	0	0	1	3	0	0	41	5	0	
	60～64歳	1,560	583	866	0	111	7.1	64	57.7	64	0	0	0	13	2	0	6	3	1	0	55	2	0	
	65～69歳	1,368	410	854	1	103	7.5	70	68.0	70	0	0	0	7	0	0	7	0	0	0	64	3	0	
	70～74歳	1,194	245	845	4	100	8.4	73	73.0	73	0	0	0	14	3	0	6	1	0	0	63	5	1	
	75～79歳	600	106	411	1	82	13.7	55	67.1	55	0	0	0	7	5	0	5	0	0	0	43	6	0	
	80歳以上	393	63	280	1	49	12.5	35	71.4	35	0	0	0	4	1	0	1	0	0	0	28	6	0	
	小計	11,849	5,472	5,683	15	679	5.7	425	62.6	425	0	0	0	62	11	0	33	8	3	0	360	37	1	
	男性計	13,276	6,589	5,969	16	702	5.3	441	62.8	441	0	0	0	63	11	0	33	9	3	0	373	40	1	
女性	40歳未満	1,101	917	167	3	14	1.3	10	71.4	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7	1	0
	40～44歳	1,408	1,086	302	3	17	1.2	13	76.5	13	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	7	4	0	
	45～49歳	1,686	1,184	474	7	21	1.2	12	57.1	12	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	9	0	0	
	50～54歳	1,585	1,038	519	6	22	1.4	19	86.4	19	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	13	4	0	
	55～59歳	1,503	859	610	9	25	1.7	19	76.0	19	0	0	0	2	0	0	6	0	0	0	14	2	0	
	60～64歳	1,452	676	722	7	47	3.2	42	89.4	42	0	0	0	6	0	0	6	0	0	0	35	5	0	
	65～69歳	1,212	460	685	8	59	4.9	48	81.4	48	0	0	0	7	2	0	3	0	0	0	43	2	0	
	70～74歳	1,128	373	679	4	72	6.4	62	86.1	62	0	0	0	8	0	0	5	0	0	0	53	5	0	
	75～79歳	578	159	374	3	42	7.3	36	85.7	36	0	0	0	9	1	0	3	1	0	0	30	2	0	
	80歳以上	353	70	254	4	25	7.1	23	92.0	23	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0	17	3	0	
	小計	10,905	5,905	4,619	51	330	3.0	274	83.0	274	0	0	0	40	5	0	31	2	1	0	221	27	0	
	女性計	12,006	6,822	4,786	54	344	2.9	284	82.6	284	0	0	0	40	5	0	33	2	1	0	228	28	0	
合計		25,282	13,411	10,755	70	1,046	4.1	725	69.3	725	0	0	0	103	16	0	66	11	4	0	601	68	1	
検診車		4,512	1,924	2,318	16	254	5.6	177	69.7	177	0	0	0	26	7	0	20	1	1	0	138	20	0	
施設		20,770	11,487	8,437	54	792	3.8	548	69.2	548	0	0	0	77	9	0	46	10	3	0	463	48	1	
地域検診		7,882	2,872	4,470	31	509	6.5	383	75.2	383	0	0	0	58	14	0	31	3	1	0	319	34	1	
職域他検診		17,400	10,539	6,285	39	537	3.1	342	63.7	342	0	0	0	45	2	0	35	8	3	0	282	34	0	
前年度合計		25,623	13,351	11,060	89	1,123	4.4	814	72.5	814	0	0	0	128	19	0	69	12	8	0	674	74	2	
																					1.69	0.07		

付) 胃の健康度診断（ヘリコバクターピロリ血清抗体・血清ペプシノゲン）

本年度の受診者数は 676 人(男性 291 人、女性 385 人)で、前年度の 501 人より 175 人増加した。

胃がんリスク別に見た各群の人数・率を表 1 に、年代別を図 1 に示した。

また、表 2 に X 線画像診断で慢性胃炎が認められた A 群および BCD 群の追跡調査結果を示した。医療機関を受診した 132 人 (66.7%) のうち胃がんは D 群から 1 人発見された。

表 1 A B C D 群の件数・率 (男女計)

単位：人 () 内%

		ヘリコバクターピロリ血清抗体価			
		陰性		陽性	
ペプシノゲン測定	萎縮なし	A 群	490 (72.5)	B 群	128 (18.9)
	萎縮あり	D 群	7 (1.0)	C 群	51 (7.5)

図 1 年代別の A B C D 群の率 (男女計)

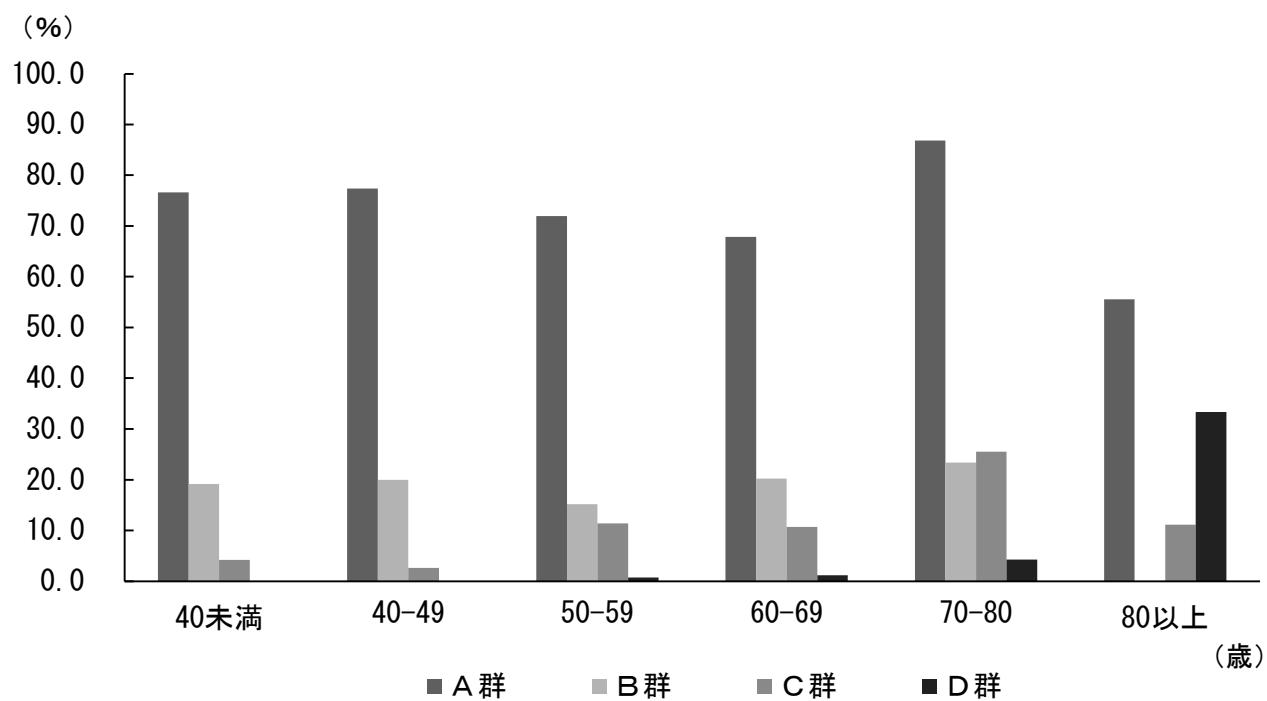


表2 胃の健康度診断 追跡調査結果

令和6年12月末現在

区分		受診者数	胃の健康度診断 結果						精密検査														
			A群	① A群 (慢性胃炎あり)	② B群	③ C群	④ D群	①~④ 要受診者数	⑤ 受医療機数閾	⑤/①~④	受診率 (%)	精検結果(延べ数)											
												胃がん	胃がん 疑い	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	その他	異常なし				
男 性	40歳未満	91	76	0	11	4	0	15	9	60.0	0	0	0	0	0	0	0	9	0				
	40~49歳	90	71	3	15	1	0	19	9	47.4	0	0	0	0	0	0	0	8	1				
	50~59歳	53	37	0	11	4	1	16	11	68.8	0	0	0	1	0	0	9	1					
	60~69歳	33	21	2	7	2	1	12	8	66.7	0	0	3	0	0	0	6	1					
	70~79歳	20	10	1	3	6	0	10	4	40.0	0	0	1	0	0	0	4	0					
	80歳以上	4	2	0	0	1	1	2	2	100.0	1	0	0	0	0	0	0	1					
	男性計	291	217	6	47	18	3	74	43	58.1	1	0	4	1	0	0	36	4					
女 性	40歳未満	123	88	0	30	5	0	35	25	71.4	0	0	0	0	0	0	24	1					
	40~49歳	100	72	1	23	4	0	28	17	60.7	0	0	2	0	0	0	14	2					
	50~59歳	79	55	3	10	11	0	24	16	66.7	0	0	0	1	0	0	14	1					
	60~69歳	51	34	0	10	7	0	17	15	88.2	0	0	1	0	0	0	13	2					
	70~79歳	27	10	1	8	6	2	17	15	88.2	0	0	2	1	0	0	14	0					
	80歳以上	5	2	1	0	0	2	3	1	33.3	0	0	1	0	0	0	0	0					
	女性計	385	261	6	81	33	4	124	89	71.8	0	0	6	2	0	0	79	6					
合計		676	478	12	128	51	7	198	132	66.7	1	0	10	3	0	0	115	10					
前年度合計		501	328	33	84	47	9	173	119	68.8	1	0	2	1	0	0	103	12					

2) 大腸がん検診

本年度の受診者数は 34,747 人(男性 16,487 人、女性 18,260 人)で、前年度の 34,463 人より 284 人増加した。

地域検診・職域検診別の内訳を表 1 に、精検結果を表 2 に、詳細を表 4 に示した。大腸がん発見数は地域検診の 39 人(男性 25 人、女性 14 人)と職域検診の 19 人(男性 13 人、女性 6 人)の計 58 人であった。男女別の年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。男女別では男性にがんが多く発見された。

がん発見数 58 人の便潜血反応との関連について表 3 に示した。2 日分とも陽性のがん発見率が 8.98% で、1 日分のみ陽性の 2.04% より著明に高かったが、一方でがんが発見された 58 人中 28 人(48.3%) が 1 日分のみ陽性であった。このことからも、1 日分のみ陽性、2 日分とも陽性のいずれの場合も精密検査の必要性に変わりのないことがわかる。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 () 内 %

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	13,213	815 (6.2)	626 (76.8)	39 (0.3)
職域検診	21,534	890 (4.1)	582 (65.4)	19 (0.09)
合 計	34,747	1,705 (4.9)	1,208 (70.9)	58 (0.17)

表 2 地域検診・職域検診別にみた精検結果(延べ人数)

単位：人

精 検 結 果	大腸がん	地域検診		職域検診	
		39	19	0	0
大腸がん疑い					
大腸ポリープ		325	271		
その他の疾患		45	45		
異常なし		217	246		

図 1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

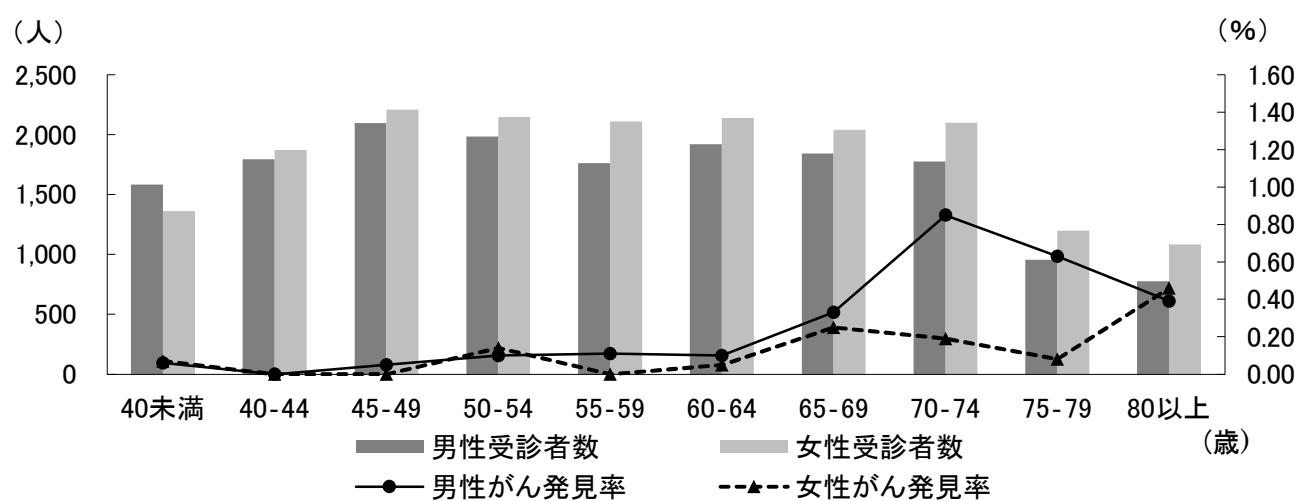


表 3 便潜血反応の結果とがん発見数

単位：人 () 内 %

	要精検者数	精検受診者数(率)	がん発見数(陽性反応的中度)
1日分(+)	1,371	947 (69.1)	28 (2.04)
2日分(+)	334	261 (78.1)	30 (8.98)

表4 大腸がん検診成績表

令和6年12月末現在

*別表

区分		A 検診受診者数	材料不適者数	便潜血陰性者数	B 要精査者数	B/A (%)	C 精密検査受診者数	C/B (%)	精検項目内訳				発見疾患(延べ数)							
									内視鏡	注腸XP	内視鏡併用・注腸XP	その他	① 直腸がん確診	② S状結腸がん確診	③ 結腸がん疑い	大腸がん確診	大腸ポリープ	その他の大腸疾患	異常なし	
男 性	40歳未満	1,582	0	1,535	47	3.0	27	57.4	27	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	19
	40～44歳	1,793	0	1,735	58	3.2	40	69.0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	18
	45～49歳	2,097	0	2,016	81	3.9	46	56.8	46	0	0	0	0	0	0	1	0	19	5	21
	50～54歳	1,984	0	1,889	95	4.8	57	60.0	57	0	0	0	1	0	1	0	0	32	5	17
	55～59歳	1,761	0	1,669	92	5.2	52	56.5	52	0	0	0	1	1	0	0	0	37	3	10
	60～64歳	1,921	0	1,807	114	5.9	76	66.7	75	0	1	0	0	1	1	1	0	54	6	14
	65～69歳	1,843	0	1,709	134	7.3	93	69.4	93	0	0	0	2	2	2	2	0	60	8	19
	70～74歳	1,775	0	1,629	146	8.2	106	72.6	106	0	0	0	3	7	5	0	61	7	23	
	75～79歳	954	0	861	93	9.7	69	74.2	69	0	0	0	2	2	2	0	48	4	11	
	80歳以上	777	0	677	100	12.9	69	69.0	69	0	0	0	1	1	1	0	46	4	16	
	小計	14,905	0	13,992	913	6.1	608	66.6	607	0	1	0	10	14	13	0	377	44	149	
	男性計	16,487	0	15,527	960	5.8	635	66.1	634	0	1	0	10	14	14	0	383	45	168	
女 性	40歳未満	1,362	0	1,308	54	4.0	33	61.1	32	0	0	1	0	0	1	0	8	1	23	
	40～44歳	1,873	0	1,805	68	3.6	43	63.2	43	0	0	0	0	0	0	0	12	6	25	
	45～49歳	2,209	0	2,150	59	2.7	44	74.6	43	0	0	1	0	0	0	0	0	17	3	24
	50～54歳	2,148	0	2,082	66	3.1	46	69.7	45	0	0	1	0	0	3	0	11	4	28	
	55～59歳	2,110	0	2,045	65	3.1	54	83.1	54	0	0	0	0	0	0	0	0	16	3	35
	60～64歳	2,138	0	2,058	80	3.7	66	82.5	65	0	0	1	0	0	1	0	30	8	27	
	65～69歳	2,040	0	1,953	87	4.3	71	81.6	71	0	0	0	2	1	2	0	26	3	37	
	70～74歳	2,099	0	1,995	104	5.0	92	88.5	90	0	0	2	1	1	2	0	33	4	51	
	75～79歳	1,197	0	1,120	77	6.4	65	84.4	62	0	0	3	0	0	1	0	36	8	20	
	80歳以上	1,084	0	999	85	7.8	59	69.4	59	0	0	0	1	1	3	0	24	5	25	
	小計	16,898	0	16,207	691	4.1	540	78.1	532	0	0	8	4	3	12	0	205	44	272	
	女性計	18,260	0	17,515	745	4.1	573	76.9	564	0	0	9	4	3	13	0	213	45	295	
合計		34,747	0	33,042	1,705	4.9	1,208	70.9	1,198	0	1	9	14	17	27	0	596	90	463	

大腸がん(確定)	
陽性反応率(%)	がん発見率(%)
～適中度	～
①～③/B	①～③/A
2.13	0.06
0.00	0.00
1.23	0.05
2.11	0.10
2.17	0.11
1.75	0.10
4.48	0.33
10.27	0.85
6.45	0.63
3.00	0.39
4.05	0.25
3.96	0.23
1.85	0.07
0.00	0.00
0.00	0.00
4.55	0.14
0.00	0.00
1.25	0.05
5.75	0.25
3.85	0.19
1.30	0.08
5.88	0.46
2.75	0.11
2.68	0.11
3.40	0.17

地域検診	13,213	0	12,398	815	6.2	626	76.8	622	0	0	4	9	14	16	0	325	45	217
職域他検診	21,534	0	20,644	890	4.1	582	65.4	576	0	1	5	5	3	11	0	271	45	246
前年度合計	34,463	0	32,756	1,707	5.0	1,202	70.4	1,193	0	0	9	17	19	19	0	611	69	468

3) 肺がん検診

本年度の受診者数は 16,307 人(男性 7,148 人、女性 9,159 人)で、前年度の 16,349 人より 42 人減少した。

地域検診・職域検診の内訳を表 1 に、詳細を表 3 に示した。肺がん発見数は地域検診 9 人(男性 7 人、女性 2 人)、職域検診からは発見されなかった。発見された 9 人は E 判定から 8 人発見され、D 判定から 1 人発見されている。なお E 判定の精検結果を表 2 に示した。

男女別の年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。

X 線検査受診者のうち高危険群に喀痰細胞診を行っている(表 4 参照)が、受診者 193 人中、要精検者は 0 人であった。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 () 内 %

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	14,293	509 (3.6)	428 (84.1)	9 (0.06)
職域検診	2,014	25 (1.2)	24 (96.0)	0 (0.00)
合 計	16,307	534 (3.3)	452 (84.6)	9 (0.06)

表 2 地域検診・職域検診別にみた E 判定(肺がん疑い)の精検結果

単位：人

精 検 結 果	地域検診		職域検診	
	原発性肺がん	肺がん疑い	原発性肺がん	肺がん疑い
原発性肺がん	8	8	0	0
肺がん疑い	8	8	0	0
その他の悪性新生物	5	5	0	0
その他の新生物	4	4	0	0
治療を要する肺結核	0	0	0	0
その他の疾患	142	142	11	11
異常なし	151	151	8	8

図 1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

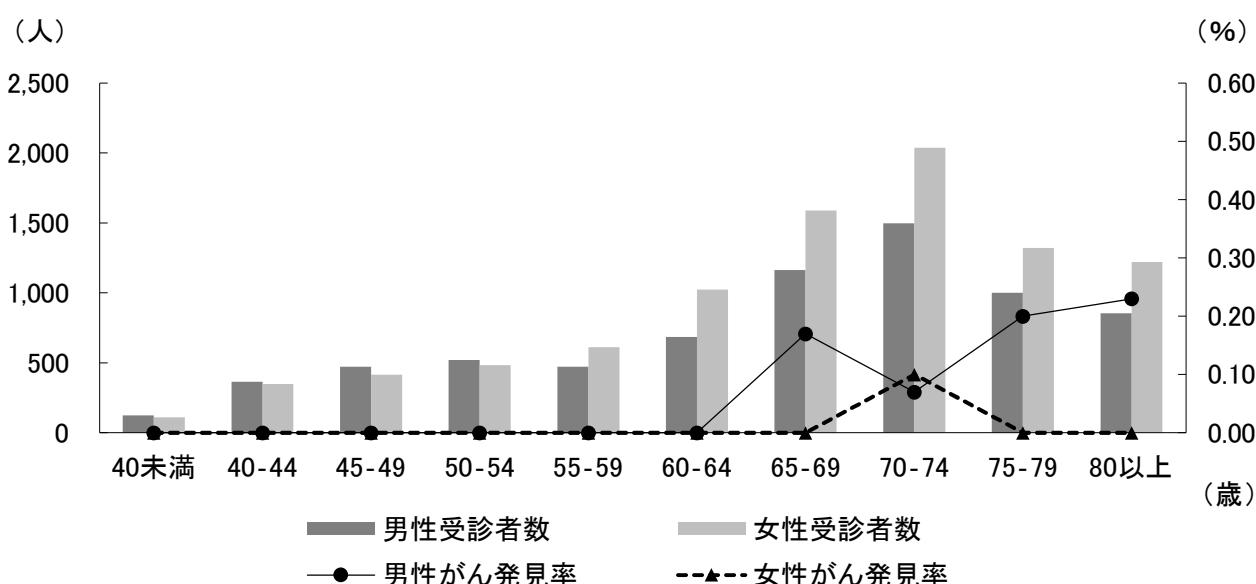


表3 肺がん検診成績表(1)

令和6年12月末現在

※別表

区分	① X線検査受診者数	X線最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)					E 判定に対する 精検受診者数	精検確定結果 (回報書による)				原精 発性未 肺癌 の精 査未 受診 者数	D 判定に 対する 精 査完 了者 数	D 判定から の肺 癌確 診患 者数	D E 判 定 か らの 治 療 を 要 す る 結 核 患 者 数	原発性肺がん (確診)	
		a) A 再 読 影 不 能	b) B 異 常 所 見 を 認 め な い	c) C 精 査 め 所 不 る 見 要 が を	d) D 肺 癌 以 外 の 精 査 の 疾 患	e) E 肺 癌 精 査 に 對 す る		a) 精 査 完 了 者 数	b) 確 原 診 發 患 性 肺 數 癌	c) 悪 性 新 生 物 其 他 の 患 者 數	d) 新 生 物 其 他 の 患 者 數				b)/E	b)/(1)	
		陽 性 (% 応 的 中 度	が ん (% 発 見 率														
男性	40歳未満	123	0	105	16	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	40~44歳	364	0	310	51	1	2	2	2	0	0	0	0	1	0	0.00	0.00
	45~49歳	472	0	378	86	0	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	50~54歳	519	0	414	102	0	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0.00	0.00
	55~59歳	472	0	379	82	3	8	6	6	0	0	0	2	3	0	0.00	0.00
	60~64歳	684	0	515	150	3	16	13	13	0	1	0	3	3	0	0.00	0.00
	65~69歳	1,162	0	833	283	13	33	30	29	1	0	0	4	10	1	3.03	0.09
	70~74歳	1,498	0	1,002	433	20	43	36	36	1	0	2	7	20	0	2.33	0.07
	75~79歳	1,000	0	590	354	13	43	33	33	2	1	1	10	11	0	4.65	0.20
	80歳以上	854	0	445	332	27	50	38	37	2	0	0	13	21	0	4.00	0.23
	男性計	7,148	0	4,971	1,889	80	208	170	168	6	2	3	40	69	1	2.88	0.08
女性	40歳未満	110	0	105	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	40~44歳	348	0	310	33	0	5	4	4	0	0	0	1	0	0	0.00	0.00
	45~49歳	414	0	355	56	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0.00	0.00
	50~54歳	483	0	390	85	2	6	5	5	0	0	0	1	0	0	0.00	0.00
	55~59歳	612	0	474	130	2	6	5	5	0	0	0	1	1	0	0.00	0.00
	60~64歳	1,024	0	736	263	6	19	18	18	0	0	0	1	6	0	0.00	0.00
	65~69歳	1,589	0	1,084	463	12	30	27	27	0	1	0	3	8	0	0.00	0.00
	70~74歳	2,038	0	1,407	573	9	49	47	45	2	0	0	4	9	0	4.08	0.10
	75~79歳	1,321	0	894	379	13	35	29	28	0	0	0	7	9	0	0.00	0.00
	80歳以上	1,220	0	834	337	14	35	32	29	0	2	1	6	11	0	0.00	0.00
	女性計	9,159	0	6,589	2,324	60	186	167	161	2	3	1	25	46	0	1.08	0.02
合計		16,307	0	11,560	4,213	140	394	337	329	8	5	4	65	115	1	2.03	0.05
地域検診	14,293	0	9,994	3,790	135	374	318	310	8	5	4	64	110	1	1	2.14	0.06
職域他検診	2,014	0	1,566	423	5	20	19	19	0	0	0	1	5	0	0	0.00	0.00
前年度合計	16,349	0	11,801	3,986	143	419	373	370	10	2	5	49	116	0	0	2.39	0.06

表 4 肺がん検診成績表(2)

令和6年12月末現在

※別表

区分	② 高X 危険 検査 群受 診者 者数 中	③ ② 項喀 痰高 容器 提出 群受 診者 者数 中	喀痰細胞診 最終決定判定区分別 受診者数					④ D+E	精 檢 受 診 者 數	精 檢 確 定 結 果 (回報書による)				原 精 発 性 肺 が ん (確診) 未受 診 肺 癌 疑 診 未完 了 患者 者数 の 度		
			A 再 材 料 檢 査 不 適	B 現 在 異 常 を 認 め な い	C 追 加 檢 査 追 跡	D た だ ち に 精 密 檢 査	E た だ ち に 精 密 檢 査			a)	b)	c)	d)			
男 性	40歳未満	9	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	40~44歳	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	45~49歳	8	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	50~54歳	139	29	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	55~59歳	138	25	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	60~64歳	248	31	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	65~69歳	482	16	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	70~74歳	648	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	75~79歳	407	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	80歳以上	274	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	男性計	2,363	152	2	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
女 性	40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	40~44歳	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	45~49歳	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	50~54歳	18	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	55~59歳	29	11	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	60~64歳	25	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	65~69歳	35	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	70~74歳	47	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	75~79歳	16	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	80歳以上	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	女性計	186	41	3	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
合計			2,549	193	5	188	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
地域検診		2,261	44	1	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
職域他検診		288	149	4	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
前年度合計		2,508	209	0	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00

付) CT 肺がん検診

本年度の受診者数は 950 人（男性 670 人、女性 280 人）で、前年度の 1,119 人と比べて 169 人減少した。初回受診者数は 157 人で施設外の特定健診と呼吸器検診を対象とした CT 肺がん検診受診者数は 38 人であった。

健診区分別の受診者数を表 1 に、令和元年度から令和 5 年度までの受診者数と肺がん判定の要精検率を図 1 に、年度別初回受診者数と経年受診者数を表 2 に、年度別肺がん確診者数と発見率を表 3 に、また、本年度の CT 肺がん検診成績表を表 4 に示した。

肺がん判定では、要精検者数 32 人（要精検率 3.4%）で、要精検率は前年度の 3.4%と同じであった。精検受診者数は 28 人（精検受診率 87.5%）であり、精検結果は肺がん確診者 3 人、肺がん疑い 1 人であった。

肺所見の判定では、要精検者数 14 人（要精検率 1.5%）、精検受診者数 13 人（精検受診率 92.9%）であり、精検結果は肺がん確診者及び肺がん疑いはいなかった。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	449	402	99	950

図 1 令和元年度から令和 5 年度までの受診者数と要精検率の推移

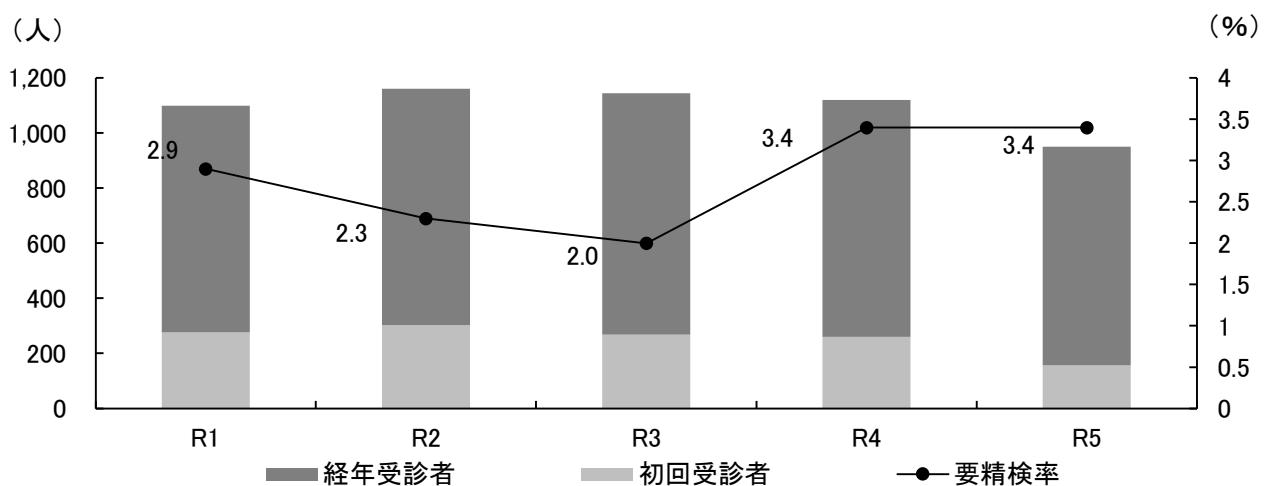


表 2 年度別初回受診者数と経年受診者数

単位：人

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
経年受診者	822	857	876	859	793
初回受診者	276	303	268	260	157
合計	1,098	1,160	1,144	1,119	950

表 3 年度別肺がん確診者数と発見率

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
肺がん確診者 (人)	3	3	1	3	3
発見率 (%)	0.27	0.26	0.09	0.27	0.32

表4 CT肺がん検診成績表

令和6年12月末現在

区分	受診者数	異常なし	肺の判定														その他臓器の判定				センターでのがん発見者数					
			肺がん判定						肺所見の判定																	
			CT最終決定判定区別 受診者数 (比較読影による)				精検受診率 (%)	精検受診者 数	精検確定結果 (回報書による)		CT最終決定判定区別 受診者数 (比較読影による)				精検受診率 (%)	精検受診者 数	精検確定結果 (回報書による)		最終決定判定区別 受診者数 (比較読影による)							
			C	DE1	DE2	(③+④)/①			肺がん確診者	肺がん疑い	C	D1～D4	(⑦/①)	要精検率 (%)					肺がん確診者	肺がん疑い	異常なし	経過観察	C	D1～D4		
			②	③	④	(③+④)/①			精検受診率 (%)	精検受診者 数	⑥	⑦	要精検率 (%)	要精検率 (%)					精検受診率 (%)	精検受診者 数	異常なし	経過観察	要精検	要精検		
男性	40歳未満	28	21	6	1	0	3.6	1	100.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0
	40～44歳	45	30	13	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	1	2.2	1	100.0	0	0	0	0	44	0	1	0	0	0
	45～49歳	69	35	33	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	69	0	0	0	0	0
	50～54歳	77	39	33	3	0	3.9	2	66.7	0	0	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	72	5	0	0	0	0
	55～59歳	84	48	28	3	1	4.8	2	50.0	0	0	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	77	4	3	0	0	0
	60～64歳	98	52	40	2	1	3.1	3	100.0	0	0	2	1	1.0	1	100.0	0	0	0	0	92	5	1	0	0	0
	65～69歳	90	34	42	4	1	5.6	5	100.0	0	0	7	2	2.2	2	100.0	0	0	0	0	84	5	1	0	0	3
	70～74歳	110	31	57	5	1	5.5	6	100.0	1	1	13	3	2.7	3	100.0	0	0	0	0	103	6	1	0	1	2
	75～79歳	47	11	30	1	1	4.3	2	100.0	1	0	3	1	2.1	1	100.0	0	0	0	0	43	3	1	0	1	2
	80歳以上	22	7	11	2	0	9.1	1	50.0	1	0	0	2	9.1	2	100.0	0	0	0	0	20	2	0	1	0	2
	男性計	670	308	293	21	5	3.9	22	84.6	3	1	33	10	1.5	10	100.0	0	0	0	0	632	30	8	1	2	9
女性	40歳未満	5	4	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
	40～44歳	22	10	12	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	20	2	0	0	0	0
	45～49歳	39	21	15	1	0	2.6	1	100.0	0	0	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0
	50～54歳	29	12	15	1	0	3.4	1	100.0	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	28	1	0	0	0	0
	55～59歳	27	10	13	2	0	7.4	2	100.0	0	0	1	1	3.7	0	0.0	0	0	0	0	26	0	1	0	0	1
	60～64歳	25	12	10	0	0	0.0	0	0.0	0	0	2	1	4.0	1	100.0	0	0	0	0	24	1	0	0	0	1
	65～69歳	28	8	19	1	0	3.6	1	100.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	26	2	0	0	0	0
	70～74歳	52	20	28	1	0	1.9	1	100.0	0	0	2	1	1.9	1	100.0	0	0	0	0	46	5	1	0	0	2
	75～79歳	37	9	26	0	0	0.0	0	0.0	0	0	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	34	1	2	0	0	0
	80歳以上	16	4	11	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	1	6.3	1	100.0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	0
	女性計	280	110	150	6	0	2.1	6	100.0	0	0	10	4	1.4	3	75.0	0	0	0	0	263	13	4	0	0	4
合計		950	418	443	27	5	3.4	28	87.5	3	1	43	14	1.5	13	92.9	0	0	0	0	895	43	12	1	2	13

前年度合計	1,119	526	479	34	4	3.4	33	86.8	3	1	44	32	2.9	23	71.9	0	0	1,034	62	23	0	3	19
-------	-------	-----	-----	----	---	-----	----	------	---	---	----	----	-----	----	------	---	---	-------	----	----	---	---	----

4) 乳がん検診

本年度の受診者数は8,522人で、前年度の8,636人より114人減少した。

地域検診・職域検診別の内訳を表1に、精検結果を表2に、詳細を表3に示した。乳がん発見数は地域検診3人、職域検診9人の計12人であった。年代別受診者数・がん発見率を図1に示した。

乳がん検診は隔年となっているが、該当しない受診者（自己負担で受診）の中からの、いわゆる中間期がん（検診と検診の間で発見されるがん）も4人発見されているため、ブレストアウェイエナスの啓発に努めていく。

表1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 ()内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	1,570	73 (4.6)	70 (95.9)	3 (0.19)
職域検診	6,952	318 (4.6)	283 (89.0)	9 (0.13)
合 計	8,522	391 (4.6)	353 (90.3)	12 (0.14)

表2 地域検診・職域検診別にみた精検結果 (延べ人数)

単位：人

精 検 結 果		地域検診	職域検診
		乳がん	9
	乳がん疑い	0	0
	乳腺症	20	62
	乳腺良性腫瘍	14	83
	その他疾患	3	25
	異常なし	30	110

図1 年代別受診者数・がん発見率

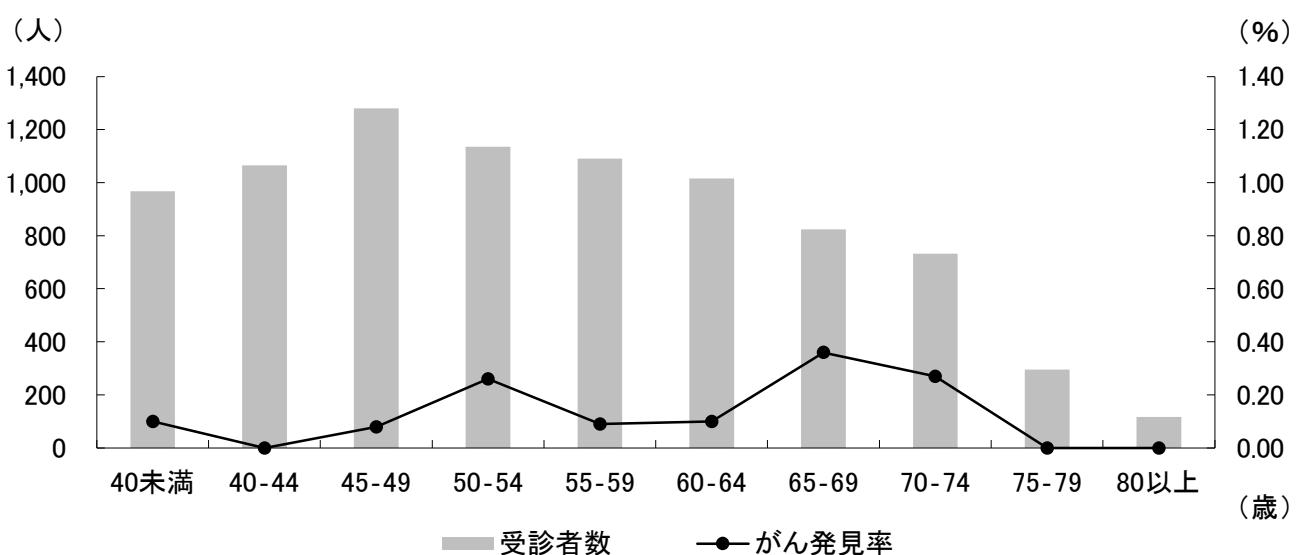


表3 乳がん検診成績表

令和6年12月末現在

※別表

区分	一次検診結果								精密検査結果								乳がん (確診)				
	A 一次検診受診者数		判定区分						C	C/B	発見疾患(延べ数)										
	① 前年度	② 当該年度	異常認めず	根拠別要精検者数			B 要精検合計	B/A② 要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	根拠別乳がん確診者数			D 乳がん確診合計	D/A② 乳がん疑い	乳腺症	乳腺良性腫瘍	その他			
				視触診のみ	マンモのみ	併用(両方)					視触診のみ	マンモのみ	併用(両方)								
40歳未満	1,099	967	918	-	49	-	49	5.1	43	87.8	-	1	-	1	0	8	13	4	19	2.04	0.10
40~44歳	1,109	1,065	1,009	-	56	-	56	5.3	51	91.1	-	0	-	0	0	9	19	2	22	0.00	0.00
45~49歳	1,264	1,280	1,213	-	67	-	67	5.2	61	91.0	-	1	-	1	0	17	23	12	10	1.49	0.08
50~54歳	1,126	1,135	1,071	-	64	-	64	5.6	57	89.1	-	3	-	3	0	12	11	3	28	4.69	0.26
55~59歳	1,073	1,090	1,052	-	38	-	38	3.5	31	81.6	-	1	-	1	0	8	6	1	15	2.63	0.09
60~64歳	966	1,016	977	-	39	-	39	3.8	35	89.7	-	1	-	1	0	12	7	2	13	2.56	0.10
65~69歳	870	824	792	-	32	-	32	3.9	31	96.9	-	3	-	3	0	8	4	2	15	9.38	0.36
70~74歳	780	732	702	-	30	-	30	4.1	28	93.3	-	2	-	2	0	2	11	1	12	6.67	0.27
75~79歳	257	296	287	-	9	-	9	3.0	9	100.0	-	0	-	0	0	3	2	1	3	0.00	0.00
80歳以上	92	117	110	-	7	-	7	6.0	7	100.0	-	0	-	0	0	3	1	0	3	0.00	0.00
小計 (40歳以上)	7,537	7,555	7,213	-	342	-	342	4.5	310	90.6	-	11	-	11	0	74	84	24	121	3.22	0.15
合計	8,636	8,522	8,131	-	391	-	391	4.6	353	90.3	-	12	-	12	0	82	97	28	140	3.07	0.14
地域検診	1,708	1,570	1,497	-	73	-	73	4.6	70	95.9	-	3	-	3	0	20	14	3	30	4.11	0.19
職域他検診	6,928	6,952	6,634	-	318	-	318	4.6	283	89.0	-	9	-	9	0	62	83	25	110	2.83	0.13
前年度合計	8,591	8,636	8,024	-	612	-	612	7.1	577	94.3	-	24	-	24	0	153	110	62	245	3.92	0.28

※乳がん検診は隔年で実施している

付) 乳房超音波検査

乳房超音波検査（以下 US）は、50歳未満の乳がん検診受診者を対象に行っているオプション検査である。本年度の50歳未満の乳がん検診受診者数は、前年度の3,472人より160人減の3,312人であった。US受診者数は815人（24.6%）で、前年度の960人より145人減少した。その中で、本年度の乳がんは0人だった。50歳未満の高濃度乳房においては、従来のマンモグラフィにUSを併用することによってがん発見率は上昇すると言われている。若年者の乳がんが増加していることもあり、今後も乳がん検診のUSについて啓蒙していかなければならない。

表1 一次検診結果

単位：人

区分	一次検診受診者			判定区分				根拠別の要精検者数	
	乳がん検診受診者数	US併用受診者数	US併用受診率(%)	異常認めず	所見あるも精検不要	要精検者数	要精検率(%)	USのみ	マンモ+US
40歳未満	967	255	26.4	85	148	22	8.6	20	2
40~44歳	1,065	269	25.3	49	201	19	7.1	17	2
45~49歳	1,280	291	22.7	51	223	17	5.8	13	4
合計	3,312	815	24.6	185	572	58	7.1	50	8

前年度合計	3,472	960	27.6	237	651	72	7.5	63	9
-------	-------	-----	------	-----	-----	----	-----	----	---

表2 精密検査結果

単位：人

区分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率(%)	根拠別の乳がん確診者数			発見疾患（延べ数）					乳がん確診	
				USのみ	マンモ+US	乳がん確診者合計	乳がん疑い	乳腺症	乳腺良性腫瘍	その他	異常なし	陽性反応適中度(%)	がん発見率(%)
40歳未満	22	20	90.9	0	0	0	0	3	10	7	1	0.00	0.00
40~44歳	19	18	94.7	0	0	0	0	8	8	3	1	0.00	0.00
45~49歳	17	17	100.0	0	0	0	0	4	9	6	2	0.00	0.00
合計	58	55	94.8	0	0	0	0	15	27	16	4	0.00	0.00

前年度合計	72	65	90.3	1	2	3	0	22	17	21	4	4.17	0.31
-------	----	----	------	---	---	---	---	----	----	----	---	------	------

5) 子宮がん検診

本年度の受診者数は 8,302 人で、前年度の 8,298 人より 4 人増加した。

地域検診・職域検診別の内訳を表 1 に、精検結果を表 2 に、詳細を表 3 に示した。子宮頸がん発見数は地域検診 0 人、職域検診 3 人の計 3 人であった。年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。

子宮がん検診の対象年齢は 20 歳以上であり、年々若年層の受診者も増えてはきているが、まだ受診率が低い傾向にある。今後も若年者に対して啓発していかなければならない。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 () 内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	子宮頸がん(発見率)
地域検診	2,503	6 (0.2)	5 (83.3)	0 (0.00)
職域検診	5,799	58 (1.0)	51 (87.9)	3 (0.05)
合 計	8,302	64 (0.8)	56 (87.5)	3 (0.04)

表 2 地域検診・職域検診別にみた精検結果

単位：人

精 検 結 果	地域検診	職域検診	
		頸がん	体がん
頸がん	0	3	
体がん	0	0	
異形成	2	22	
その他の疾患	1	2	
異常なし	2	24	

図 1 年代別受診者数・がん発見率

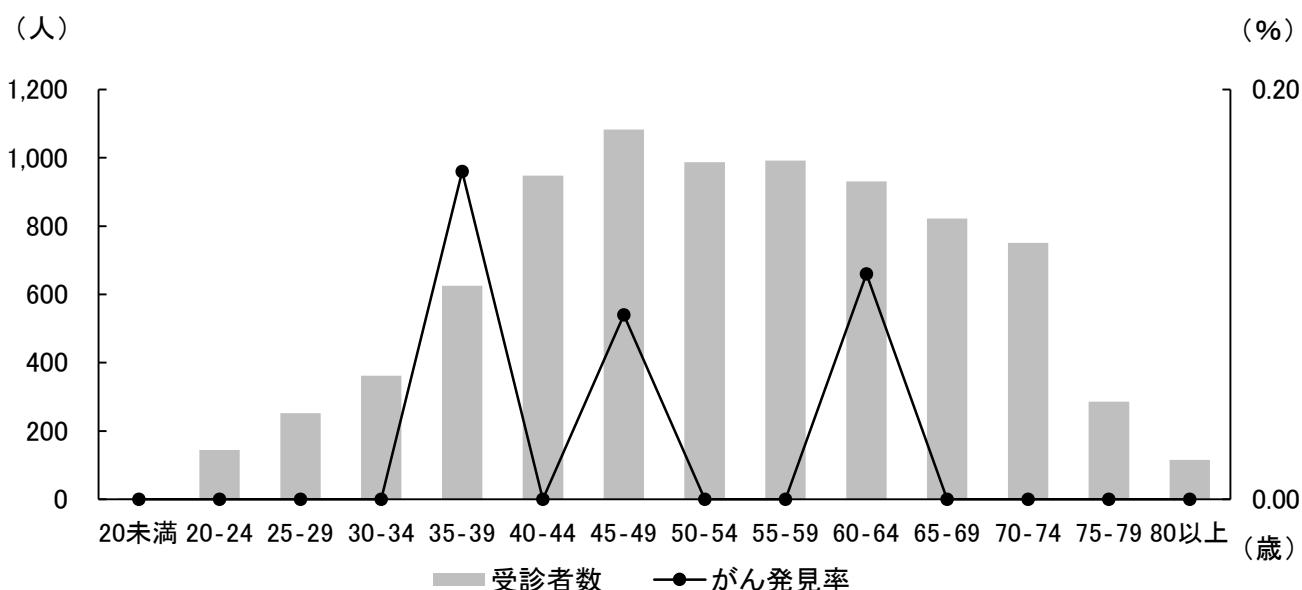


表3 子宮がん検診成績表

令和6年12月末現在 ※別表

区分	一次検診結果																精密検査結果								子宮頸がん(確診)						
	A 一次検診受診者数	頸部細胞診検査結果										B 要精検合計	B/A 要精検率(%)	発見疾病(延べ数)					C 精検受診者数	C/B 精検受診率(%)	子宮頸がん			子宮体がん	異形成(CIN1,2)	その他の疾患	異常なし				
		陰性	要精検												判定不能	頸管ポリープ	子宮筋腫	子宮脱	卵巣腫瘍	膀胱炎	その他	上皮内がん(CIN3) ①	微小浸潤がん ②	浸潤がん ③							
		NILM	ASC-US	ASC-H	L SIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other																				
20歳未満	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00 0.00		
20~24歳	144	141	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	2.1	0	0	0	0	0	0	3	100.0	0	0	0	0	2	0	1	0.00 0.00	
25~29歳	252	244	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8	3.2	1	0	0	0	0	1	6	75.0	0	0	0	0	4	0	2	0.00 0.00	
30~34歳	362	357	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	1.4	3	0	0	0	0	15	5	100.0	0	0	0	0	1	1	3	0.00 0.00	
35~39歳	625	616	3	1	4	1	0	0	0	0	0	0	9	1.4	3	9	0	0	0	22	8	88.9	1	0	0	0	4	0	3	11.11 0.16	
40~44歳	948	939	2	0	6	1	0	0	0	0	0	0	9	0.9	15	25	0	0	1	30	8	88.9	0	0	0	0	3	0	5	0.00 0.00	
45~49歳	1,083	1,069	3	4	6	1	0	0	0	0	0	0	14	1.3	29	47	0	0	0	41	13	92.9	1	0	0	0	6	0	6	7.14 0.09	
50~54歳	987	980	3	0	3	0	0	1	0	0	0	0	7	0.7	23	41	0	0	2	26	4	57.1	0	0	0	0	2	0	2	0.00 0.00	
55~59歳	992	989	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3	12	25	0	0	1	9	3	100.0	0	0	0	0	1	0	2	0.00 0.00	
60~64歳	931	929	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0.2	11	12	0	0	0	10	2	100.0	1	0	0	0	0	1	0	50.00 0.11	
65~69歳	822	821	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	4	6	3	0	2	4	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0.00 0.00	
70~74歳	751	749	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.3	0	4	2	0	0	4	2	100.0	0	0	0	0	1	0	1	0.00 0.00	
75~79歳	286	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1	1	1	0	1	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00 0.00		
80歳以上	115	114	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.9	0	0	1	0	1	0	1	100.0	0	0	0	0	0	1	0	0.00 0.00	
小計	8,298	8,234	26	5	28	4	0	1	0	0	0	0	64	0.8	102	170	7	0	8	164	56	87.5	3	0	0	0	24	3	26	4.69 0.04	
合計	8,302	8,238	26	5	28	4	0	1	0	0	0	0	64	0.8	102	170	7	0	8	164	56	87.5	3	0	0	0	24	3	26	4.69 0.04	
1																															
地域検診	2,503	2,497	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6	0.2	10	20	7	0	4	22	5	83.3	0	0	0	0	2	1	2	0.00 0.00	
職域他検診	5,799	5,741	24	5	24	4	0	1	0	0	0	0	58	1.0	92	150	0	0	4	142	51	87.9	3	0	0	0	22	2	24	5.17 0.05	
前年度合計	8,298	8,254	17	4	18	3	1	0	0	0	0	0	1	43	0.5	84	156	8	0	18	201	38	88.4	5	0	0	0	13	0	20	11.63 0.06

6) 前立腺がん検診

本年度の受診者数は3,317人で、前年度の3,402人より85人減少した。

地域検診・職域検診別の内訳を表1に、精検結果を表2に、詳細を表3に示した。前立腺がんの発見数は地域検診の8人、職域検診の7人の計15人であった。

年代別受診者数・がん発見率を図1に示した。がん発見率は60歳代後半が0.59%で、他の年齢層より高かった。なお75歳以上のがん発見率が高値となったが、受診者数が少ないと影響していると考えられる。

前立腺がん検診はオプションであることもあって、受診者数は胃がん検診や大腸がん検診の男性受診者に比べて極めて少ない。前立腺がんの近年の増加傾向も踏まえて、引き続き啓発していかなければならない。

表1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 ()内%

	受診者数	要精検者数 (率)	精検受診者数 (率)	がん (発見率)
地 域 検 診	1,095	89 (8.1)	70 (78.7)	8 (0.73)
職 域 検 診	2,222	95 (4.3)	71 (74.7)	7 (0.32)
合 計	3,317	184 (5.5)	141 (76.6)	15 (0.45)

表2 地域検診・職域検診別にみた精検結果（延べ人数）

単位：人

精 検 結 果	地域検診	職域検診	
		前立腺がん	前立腺がん疑い
		8	7
	前立腺がん疑い	28	23
	前立腺肥大症	30	32
	その他	1	2
	異常なし	3	7

図1 年代別受診者数・がん発見率

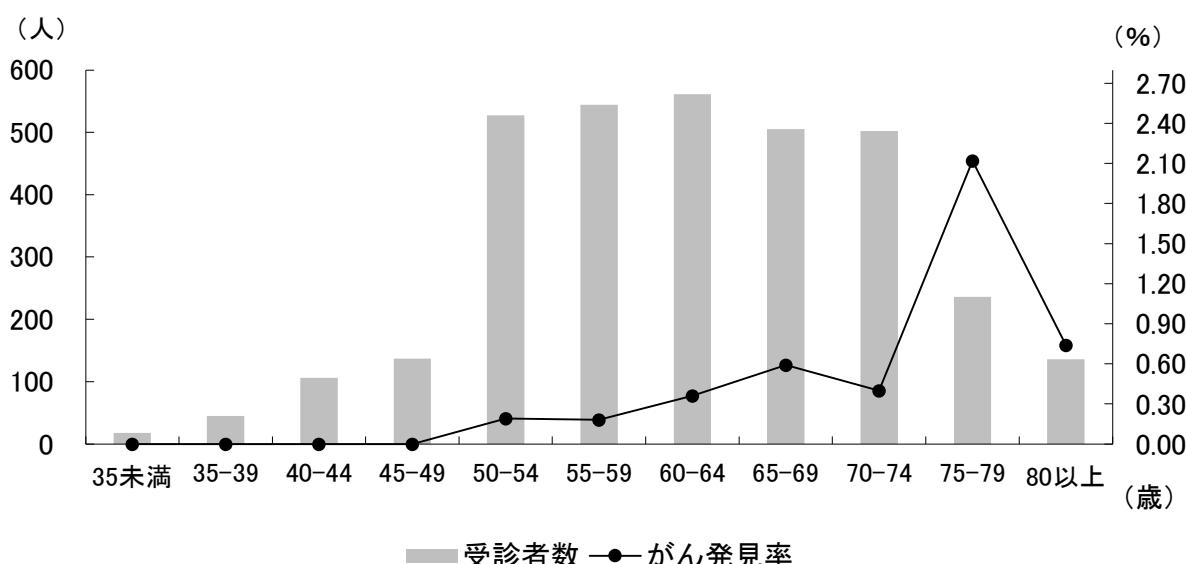


表3 前立腺がん検診成績表

令和6年12月末現在 ※別表

区分 【年齢別】	一次検診結果								精密検査結果																前立腺がん	
	受診者 数 (a)	判定区分				精検 受診者数		精検 受診率(%)		検査項目内訳(延べ数)					発見疾患								(c)/(b)	(c)/(a) 陽性反応 的中度		
		要精検(b)		要精検率(%)						直腸診	超音波 検査	腫瘍 マーカー	生検	その他	前立腺がん (c)		前立腺がん疑		前立腺肥大		その他		異常なし			
		(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	
35歳未満	18	18	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	45	45	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	106	105	1	0	0.9	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49歳	137	135	2	0	1.5	0.0	1	0	50.0	0.0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
50～54歳	527	516	10	1	1.9	0.2	6	1	60.0	100.0	0	1	5	1	1	1	0	2	0	3	0	0	0	0	1	0
55～59歳	544	527	16	1	2.9	0.2	12	1	75.0	100.0	0	2	8	1	3	0	1	6	0	5	0	1	0	0	0	0
60～64歳	561	537	21	3	3.7	0.5	17	2	81.0	66.7	4	6	14	5	6	0	2	6	0	9	0	1	0	1	0	0
65～69歳	505	457	46	2	9.1	0.4	37	2	80.4	100.0	8	12	31	3	12	3	0	13	0	16	2	0	0	5	0	0
70～74歳	502	457	44	1	8.8	0.2	28	1	63.6	100.0	3	4	26	4	11	1	1	11	0	12	0	1	0	3	0	0
75～79歳	236	214	20	2	8.5	0.8	19	2	95.0	100.0	4	6	16	6	6	4	1	6	0	9	1	0	0	0	0	0
80歳以上	136	122	11	3	8.1	2.2	10	2	90.9	66.7	0	2	8	2	2	0	1	6	1	4	0	0	0	0	0	0
合計	3,317	3,133	171	13	5.2	0.4	130	11	76.0	84.6	19	33	109	22	41	9	6	50	1	59	3	3	0	9	1	
総計	3,317	3,133	184		5.5		141		76.6								15		51		62		3		10	

再掲【地域・職域別】

地域検診	1,095	1,006	81	8	7.4	0.7	64	6	79.0	75.0	7	13	56	11	20	5	3	27	1	28	2	1	0	3	0	8.99	0.73
職域検診	2,222	2,127	90	5	4.1	0.2	66	5	73.3	100.0	12	20	53	11	21	4	3	23	0	31	1	2	0	6	1	7.37	0.32
前年度合計	3,402	3,213	176	13	5.2	0.4	132	9	75.0	69.2	10	17	104	31	60	20	2	52	1	42	3	1	0	17	3	11.64	0.65

D…PSA値 4.001～10.000 ng/mL

E…PSA値 10.001 ng/mL以上

(7) 腹部超音波検査

本年度の受診者数は8,503人で、前年度の8,006人より497人増加した。これは、前年度の9月から12月までオプション検査の受け入れを制限しており、受診者数が少なかったことによる増加と考えられる。

表1に健診区分別の受診者数、表2に年代別判定区分を示した。

図1に過去5年間の受診者数の推移を示し、図2に過去5年間の精検受診率の推移を示した。本年度の精検受診率は81.9%であった。

精密検査の結果については、悪性腫瘍が9例（肝臓がん1例、胆のうがん1例、脾臓がん3例、腎臓がん2例、膀胱がん2例）、外科的適応となった非悪性腫瘍は13例（胆道系疾患2例、腎尿路系疾患5例、婦人科系疾患6例）であった。

表1 健診区分別受診者数

単位：人

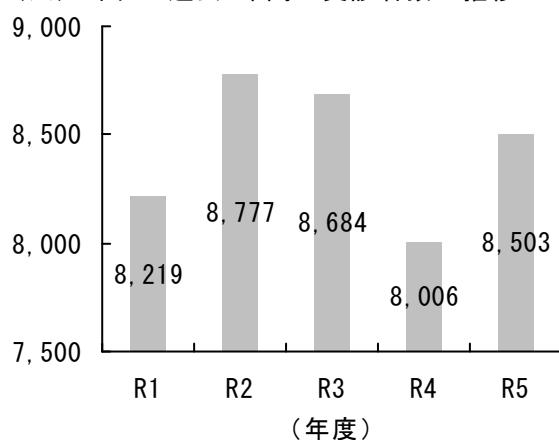
健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	3,972	3,597	934	8,503

表2 年代別の判定区分

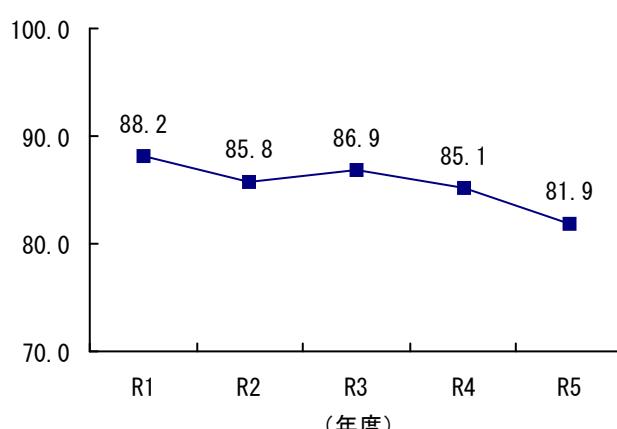
単位：人 ()内%

		受診者数	異常なし	精検不要	要観察	要精検	要治療	治療中
男性	40歳未満	352	78 (22.2)	70 (19.9)	180 (51.1)	24 (6.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40~49歳	1,037	138 (13.3)	171 (16.5)	675 (65.1)	50 (4.8)	3 (0.3)	0 (0.0)
	50~59歳	1,117	62 (5.6)	163 (14.6)	828 (74.1)	63 (5.6)	0 (0.0)	1 (0.1)
	60~69歳	933	38 (4.1)	162 (17.4)	645 (69.1)	83 (8.9)	3 (0.3)	2 (0.2)
	70~79歳	581	26 (4.5)	94 (16.2)	392 (67.4)	64 (11.0)	5 (0.9)	0 (0.0)
	80歳以上	82	1 (1.2)	15 (18.3)	57 (69.5)	9 (11.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	小計	4,102	343 (8.4)	675 (16.5)	2,777 (67.6)	293 (7.1)	11 (0.3)	3 (0.1)
女性	40歳未満	305	109 (35.8)	80 (26.2)	97 (31.8)	18 (5.9)	0 (0.0)	1 (0.3)
	40~49歳	1,070	241 (22.5)	288 (26.9)	486 (45.5)	55 (5.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
	50~59歳	1,243	166 (13.4)	293 (23.6)	704 (56.5)	78 (6.3)	2 (0.2)	0 (0.0)
	60~69歳	1,016	106 (10.4)	269 (26.5)	581 (57.2)	60 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
	70~79歳	683	50 (7.3)	177 (25.9)	394 (57.8)	57 (8.3)	4 (0.6)	1 (0.1)
	80歳以上	84	7 (8.3)	19 (22.6)	48 (57.2)	9 (10.7)	0 (0.0)	1 (1.2)
	小計	4,401	679 (15.4)	1,126 (25.6)	2,310 (52.5)	277 (6.3)	6 (0.1)	3 (0.1)
合計		8,503	1,022 (12.0)	1,801 (21.2)	5,087 (59.8)	570 (6.7)	17 (0.2)	6 (0.1)
前年度合計		8,006	968 (12.1)	1,635 (20.4)	4,768 (59.5)	618 (7.7)	13 (0.2)	4 (0.1)

(人) 図1 過去5年間の受診者数の推移



(%) 図2 過去5年間の精検受診率の推移



(8) 循環器系検査

1) 心電図検査

本年度の受診者数は 46,521 人で、前年度の 46,029 人より 492 人増加した。

表 1 に健診区分別の受診者数、表 2 に年代別判定区分の人数と比率について示した。年齢が上がるにつれて有所見率は高くなる傾向にあった。

表 3 に要医療となった所見の内訳を示した。要医療の内訳では、心房細動が最も多かった。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	特定健診	事業所・その他	計
受診者数	8,330	15,662	7,436	15,093	46,521

表 2 年代別の判定区分

単位：人 () 内%

		受診者数	異常なし	要観察	要指導	要精検	要医療
男性	40 歳未満	5,248	4,366 (83.2)	645 (12.3)	27 (0.5)	206 (3.9)	4 (0.1)
	40~49 歳	4,691	3,720 (79.3)	628 (13.4)	58 (1.2)	270 (5.8)	15 (0.3)
	50~59 歳	4,335	3,161 (72.9)	681 (15.7)	76 (1.8)	369 (8.5)	48 (1.1)
	60~69 歳	4,212	2,621 (62.2)	791 (18.8)	122 (2.9)	526 (12.5)	152 (3.6)
	70~79 歳	3,012	1,496 (49.7)	638 (21.2)	155 (5.1)	508 (16.9)	215 (7.1)
	80 歳以上	834	268 (32.0)	185 (22.2)	54 (6.5)	229 (27.5)	98 (11.8)
	小 計	22,332	15,632 (70.0)	3,568 (16.0)	492 (2.2)	2,108 (9.4)	532 (2.4)
女性	40 歳未満	4,967	4,191 (84.3)	542 (10.9)	14 (0.3)	217 (4.4)	3 (0.1)
	40~49 歳	4,886	3,930 (80.4)	693 (14.2)	15 (0.3)	243 (5.0)	5 (0.1)
	50~59 歳	4,813	3,765 (78.2)	597 (12.4)	26 (0.5)	408 (8.5)	17 (0.4)
	60~69 歳	4,662	3,300 (70.8)	655 (14.0)	56 (1.2)	619 (13.3)	32 (0.7)
	70~79 歳	3,609	2,301 (63.8)	557 (15.4)	53 (1.5)	625 (17.3)	73 (2.0)
	80 歳以上	1,252	582 (46.4)	185 (14.8)	31 (2.5)	375 (30.0)	79 (6.3)
	小 計	24,189	18,069 (74.7)	3,229 (13.3)	195 (0.8)	2,487 (10.3)	209 (0.9)
合 計		46,521	33,701 (72.4)	6,797 (14.6)	687 (1.5)	4,595 (9.9)	741 (1.6)
前年度合計		46,029	33,033 (71.7)	6,795 (14.8)	723 (1.6)	4,712 (10.2)	766 (1.7)

表 3 要医療の内訳（延べ件数）

所見名	件数	所見名	件数	所見名	件数
心房細動	492	頻脈性心房細動	8	高度な徐脈	1
高度 ST 低下	69	上室頻拍	6	センシング不全	1
高度 T 波異常	68	房室ブロックⅢ度	3	房室ブロックⅡ度+徐脈	1
人工ペースメーカー	56	徐脈性心房細動	3		
心室性期外収縮(多源性)	39	心房粗細動	2		
心室性期外収縮(連発性)	28	徐脈を伴う房室ブロックⅢ度	2		
心房粗動	18	心室性期外収縮(RonT)	2		
二枝ブロック+房室ブロックⅠ度	17	PAT with block	1		

2) 眼底検査

本年度の受診者数は 20,033 人で、前年度の 19,354 人より 679 人増加した。なお健診区分別の受診者数は表 1 のとおりである。

当センターでは眼底血管の高血圧性変化と動脈硬化性変化の程度を Scheie 分類(0 度：異常なし～IV 度：最も変化が強い)に従って判定しており、本年度の受診者の年代別判定区分は表 2 のとおりである。上記以外の所見については表 3 に示した。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	特定健診	計
受診者数	7,818	2,409	4,165	5,641	20,033

表 2 年代別の判定区分 (Scheie 分類)

単位：人 () 内%

	受診者数	異常なし	要指導		要医療		判定不能
		0	I	II	III	IV	
40歳未満	1,718	1,713	3	2	0	0	0
40～44歳	1,511	1,505	1	5	0	0	0
45～49歳	1,927	1,906	11	10	0	0	0
50～54歳	2,009	1,980	14	15	0	0	0
55～59歳	1,848	1,812	14	22	0	0	0
60～64歳	2,192	2,126	46	18	0	0	2
65～69歳	2,860	2,769	65	23	0	0	3
70～74歳	3,069	2,918	120	25	0	0	6
75～79歳	1,717	1,579	112	19	0	0	7
80歳以上	1,182	1,044	110	17	0	0	11
合計	20,033	19,352 (96.60)	496 (2.48)	156 (0.78)	0 (0.00)	0 (0.00)	29 (0.14)

表 3 「他の疾患」の内訳 (延べ件数)

所見名	件数	所見名	件数
緑内障疑い	731	網膜病変	70
黄斑部病変	329	糖尿病網膜症	23
上記以外の血管病変	89	視神経病変	5
糖尿病網膜症疑い	48	硝子体病変	8
白内障	1		

3) BNP検査

BNP検査は心臓機能マーカーの検査（血液検査）である。

本年度の受診者数は1,488人で、前年度の1,751人より263人減少した。判定の要指導は227人、要精査は53人であった。

表1 年代別の判定区分

単位：人 () 内%

		受診者数	異常なし	要指導	要精査
男性	40歳未満	55	52 (94.5)	3 (5.5)	0 (0.0)
	40～49歳	155	150 (96.8)	4 (2.6)	1 (0.6)
	50～59歳	190	180 (94.8)	9 (4.7)	1 (0.5)
	60～69歳	224	183 (81.7)	28 (12.5)	13 (5.8)
	70～79歳	139	99 (71.2)	26 (18.7)	14 (10.1)
	80歳以上	17	6 (35.3)	9 (52.9)	2 (11.8)
	小計	780	670 (85.9)	79 (10.1)	31 (4.0)
女性	40歳未満	46	44 (95.7)	2 (4.3)	0 (0.0)
	40～49歳	137	121 (88.3)	16 (11.7)	0 (0.0)
	50～59歳	206	163 (79.2)	39 (18.9)	4 (1.9)
	60～69歳	176	127 (72.2)	44 (25.0)	5 (2.8)
	70～79歳	126	78 (61.9)	37 (29.4)	11 (8.7)
	80歳以上	17	5 (29.4)	10 (58.8)	2 (11.8)
	小計	708	538 (76.0)	148 (20.9)	22 (3.1)
合計		1,488	1,208 (81.1)	227 (15.3)	53 (3.6)
前年度合計		1,751	1,453 (83.0)	250 (14.3)	48 (2.7)

4) 血圧脈波検査

血圧脈波検査は年度年齢 40~79 歳を対象とし実施した。受診者数は 676 人で、前年度の 400 人と比べ 276 人増加した。これは、前年度の 9 月から 3 月までオプション検査の受け入れを中止しており受診者数が少なかった事による増加と考えられる。

健診区分別受診者数を表 1 に、男女別の年代別受診者数を図 1 に、年代別の検査結果を表 2 に示した。健診区分別では人間ドックと協会けんぽの受診者数が大半を占め、年代別では男女ともに 50 歳代の受診率が高かった。

CAVI (心臓足首血管指数) は動脈硬化の程度を反映し、9.0 以上が動脈硬化の疑いとされ、男女ともに 70 歳代の割合が多かった。

ABI(足関節上腕血圧比)は下肢動脈の狭窄の程度を反映し、0.9 以下が末梢動脈疾患の疑いとされ、1 人がこれに該当した。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所	計
受診者数	318	342	16	676

図 1 男女別の年代別受診者数

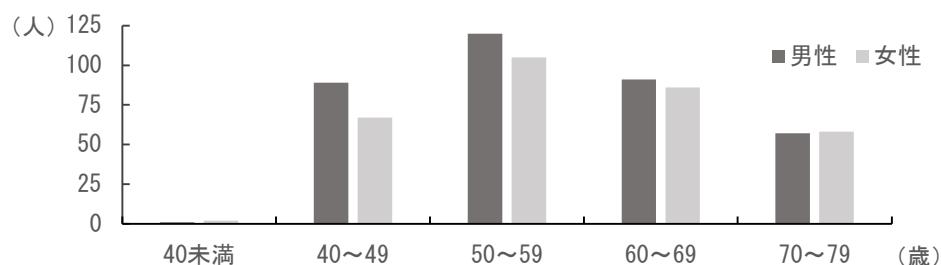


表 2 年代別の検査結果

単位：人 ()内%

受診者数		CAVI		末梢動脈疾患疑い (ABI 0.9 以下)
		正常範囲 (境界領域含む)	動脈硬化疑い (9.0 以上)	
男性	40 歳未満	1	1 (100.0)	0 (0.0)
	40~49 歳	89	89 (100.0)	0 (0.0)
	50~59 歳	120	99 (82.5)	21 (17.5)
	60~69 歳	91	50 (54.9)	41 (45.1)
	70~79 歳	57	16 (28.1)	41 (71.9)
	小計	358	255 (71.2)	103 (28.8)
女性	40 歳未満	2	2 (100.0)	0 (0.0)
	40~49 歳	67	67 (100.0)	0 (0.0)
	50~59 歳	105	98 (93.3)	7 (6.7)
	60~69 歳	86	6 (73.3)	23 (26.7)
	70~79 歳	58	35 (60.3)	23 (39.7)
	小計	318	265 (83.3)	53 (16.7)
合計		676	520 (76.9)	156 (23.1)
前年度合計		400	289 (72.2)	111 (27.8)
				1 (0.3)

(9) 骨粗しょう症検診（骨密度測定）

本年度の受診者数は3,824人（男性1,245人、女性2,579人）で、前年度の1,729人と比べ、2,095人増加した。

大幅な検査人数の増加は、みらい健康調査対象者によるものであり2,513人であった。

健診区分別受診者数を表1に、年代別の判定区分を表2に示した。女性の60～80歳代の要精検率が著明に高かった。

過去5年間における骨粗しょう症検診受診者数の推移を図1に示した。

表1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	合計
受診者数	2,844 〔みらい2,158〕	564 〔みらい172〕	416 〔みらい183〕	3,824 〔みらい2,513〕

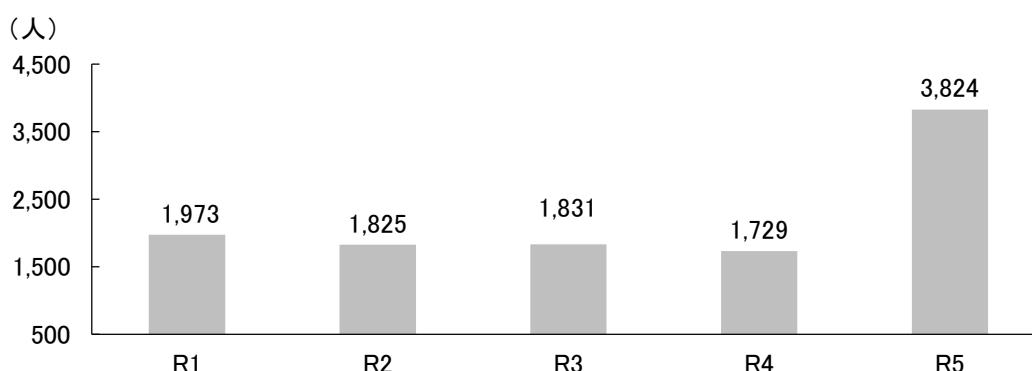
表2 年代別の判定区分

単位：人 ()内%

		受診者数	異常なし	要指導	要精検
男性	20～29歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～39歳	22	21 (95.5)	1 (4.5)	0 (0.0)
	40～49歳	62	55 (88.7)	5 (8.1)	2 (3.2)
	50～59歳	139	121 (87.1)	15 (10.8)	3 (2.2)
	60～69歳	318	250 (78.6)	60 (18.9)	8 (2.5)
	70～79歳	590	364 (61.7)	156 (26.4)	70 (11.9)
	80歳以上	113	48 (42.5)	45 (39.8)	20 (17.7)
	小計	1,245	860 (69.1)	282 (22.7)	103 (8.3)
女性	20～29歳	3	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～39歳	65	65 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～49歳	252	247 (98.0)	4 (1.6)	1 (0.4)
	50～59歳	482	340 (70.5)	95 (19.7)	47 (9.8)
	60～69歳	823	234 (28.4)	244 (29.6)	345 (41.9)
	70～79歳	847	106 (12.5)	232 (27.4)	509 (60.1)
	80歳以上	107	3 (2.8)	19 (17.8)	85 (79.4)
	小計	2,579	998 (38.7)	594 (23.0)	987 (38.3)
合計		3,824	1,858 (21.3)	876 (8.6)	1,090 (11.3)

前年度合計	1,729	788 (45.6)	395 (22.8)	546 (31.6)
-------	-------	------------	------------	------------

図1 過去5年間における受診者数の推移



(10) CT内臓脂肪測定

本年度のCT内臓脂肪測定の受診者数は3,149人（男性1,475人、女性1,674人）で、前年度の851人と比べて2,298人増加しており、初回受診者数は2,164人であった。

大幅な検査人数の増加は、みらい健康調査対象者によるものであり2,529人であった。

健診区分別受診者数を表1に、男女別の年代別受診者数を図1に、年代別の測定結果を表2に示した。健診区分別では人間ドックが多く、年代別は男女ともには70歳代が多かった。

内臓脂肪面積が100cm²以上の場合は生活習慣の改善が必要とされており、男性においては50歳未満を除き、各年代とも過半数がそれに該当していた。一方、女性は全ての年代において、その該当者は半数以下であった。

表1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	2,395	513	241	3,149

図1 男女別の年代別受診者数

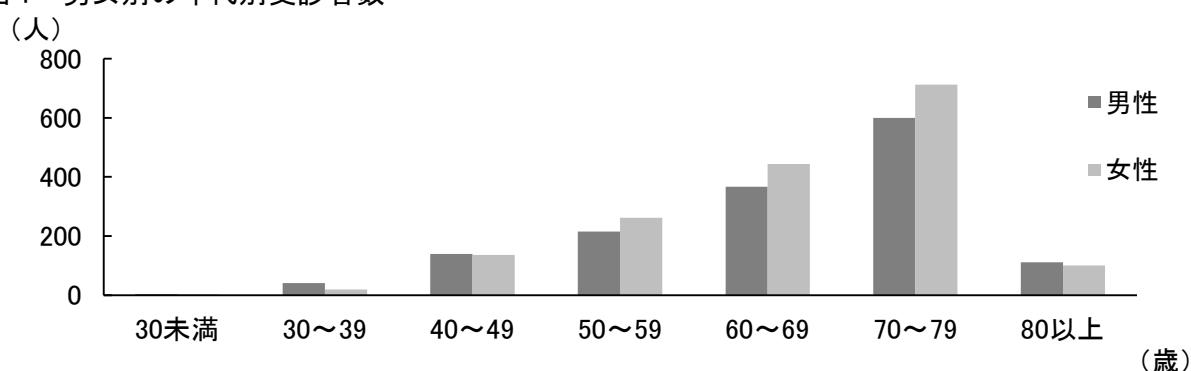


表2 年代別の測定結果

		受診者数	100cm ² 未満(%)	100cm ² 以上(%)
男性	20～29歳	4	2 (50.0)	2 (50.0)
	30～39歳	40	29 (72.5)	11 (27.5)
	40～49歳	139	75 (53.9)	64 (46.1)
	50～59歳	215	89 (41.3)	126 (58.7)
	60～69歳	367	130 (35.4)	237 (64.6)
	70～79歳	599	247 (41.2)	352 (58.8)
	80歳以上	111	47 (42.3)	64 (57.7)
	小計	1475	619 (41.9)	856 (58.1)
女性	20～29歳	2	2 (100.0)	0 (00.0)
	30～39歳	19	17 (89.4)	2 (10.6)
	40～49歳	136	122 (89.7)	14 (10.3)
	50～59歳	261	194 (74.3)	67 (25.7)
	60～69歳	444	307 (69.1)	137 (30.9)
	70～79歳	712	462 (64.8)	250 (35.2)
	80歳以上	100	64 (64.0)	36 (36.0)
	小計	1674	1168 (69.7)	506 (30.3)
合計		3149	1787 (56.7)	1362 (43.3)
前年度合計		851	447 (52.5)	404 (47.5)

(11) 甲状腺ホルモン検査 (TSH・FT4)

本年度の受診者数は 756 人（男性 215 人、女性 541 人）で前年度の 955 人と比べ 199 人減少した。健診区分別受診者数を表 1 に、男女別・年代別の判定区分を表 2 に示した。結果の内訳をみると、甲状腺機能亢進疑いは 65 人(8.6%)、機能低下疑いは 100 人(13.2%)で、機能低下疑いの有所見率が高かった。男女別にみると、機能亢進疑いは男性 16 名(7.4%)、女性が 49 名(9.1%)、機能低下疑いは男性 24 名(11.2%)、女性 76 名(14.0%)だった。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	232	429	95	756

表 2 男女別・年代別の判定区分

単位：人 () 内%

		受診者数	異常なし	機能亢進疑い	機能低下疑い
男 性	40 歳未満	16	14	2 (12.5)	0 (0.0)
	40~49 歳	52	43	5 (9.6)	4 (7.7)
	50~59 歳	66	54	5 (7.5)	7 (10.6)
	60~69 歳	47	38	4 (8.5)	5 (10.6)
	70~79 歳	27	21	0 (0.0)	6 (22.2)
	80 歳以上	7	51	0 (0.0)	2 (28.6)
	小 計	215	175	16 (7.4)	24 (11.2)
女 性	40 歳未満	73	58	8 (11.0)	7 (9.6)
	40~49 歳	169	133	12 (7.1)	24 (14.2)
	50~59 歳	165	122	19 (11.5)	24 (14.5)
	60~69 歳	84	66	5 (5.9)	13 (15.5)
	70~79 歳	43	32	4 (9.3)	7 (16.3)
	80 歳以上	7	5	1 (14.2)	1 (14.3)
	小 計	541	416	49 (9.1)	76 (14.0)
合 計		756	591	65 (8.6)	100 (13.2)

(12) 糖尿病精密検査

本年度の健康診断における糖尿病検査受診者数は 49,594 人で、そのうち糖尿病治療中と定期受診中の受診者が 3,129 人であった。

要再検・要治療者 1,665 人のうち、回報書を発行したのは 1,331 人(※)だった。精密検査受診者は 695 人(52.2%) で、精密検査の結果は糖尿病型 383 人(55.1%)、境界型 180 人(25.9%)、正常型 132 人(19.0%) であった。

また、職域健診の人間ドック受診者と、地域健診の一部健保の受診者のうち要観察と判定された受診者の中で、空腹時血糖が 110~125 mg/dL または HbA1c 6.0~6.4% の受診者にも追跡調査を行っており、925 人に回報書を発行した。そのうち精密検査受診者は 585 人(63.2%) で、精密検査の結果、糖尿病型 85 人(14.5%)、境界型 269 人(46.0%)、正常型 231 人(39.5%) であった。

表 1 健診区分別の糖尿病検査受診者数と精検結果

単位：人

		受 診 者 数	定期 受 診 中	糖 尿 病 治 療 中	異 常 な し	精 検 不 要	要 観 察	要 再 検	要 治 療	回 報 書 発 行 者 数	精 檢 受 診 者 数	精 檢 受 診 率 (%)	精検結果		
													糖尿病型	境界型	正常型
計		49,594	3,129	25,882	18,918	1,665		1,331		695	52.2	383	180	132	
地域健診		15,184	1,632	4,741	8,075	736		603		404	67.0	226	106	72	
職 域 健 診	協会 けんぽ	15,398	874	8,848	5,203	473		408		168	41.2	90	45	33	
	事業所	17,197	526	11,712	4,568	391		267		97	36.3	48	25	24	
	人間 ドック	1,815	97	581	1,072	65		53		26	49.1	19	4	3	

空腹時血糖 110~125mg/dL または HbA1c 6.0~6.4%	925	585	63.2	85	269	231
---	-----	-----	------	----	-----	-----

※医療機関で定期受診中の者、また特定業務健診受診者は 1 年のうち 2 回目の健診であるため回報書を発行していない

(13) 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 (Lox-index)

本年度から新しいオプション検査として脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 (Lox-Index) を開始した。受診者数は 1,050 人（男性 587 人、女性 463 人）だった。健診区分別受診者数（男女別）を表 1 に示す。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分		人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	男性	230	327	30	587
	女性	212	197	54	463
	計	442	524	84	1,050

(14) アレルギー検査 (MAST48mix)

本年度から新しいオプション検査としてアレルギー検査 (MAST48mix) を開始した。受診者数は 803 人（男性 339 人、女性 464 人）だった。健診区分別受診者数（男女別）を表 1 に示す。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分		人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	男性	85	201	53	339
	女性	123	230	111	464
	計	208	431	164	803

(15) 受診後の指導

人間ドックおよび全国健康保険協会生活習慣病予防健診の受診者に対し、診察終了後に生活改善および精密検査受診を必要とする受診者を対象に、保健師・管理栄養士が面談を行って指導している。本年度は 149 人に指導し、内容は検査結果の説明や食事指導が多かった。

表 1 男女別指導内容

単位：人

人数	結果説明	受診勧奨	指導内容（延べ数）				
			食事	運動	禁煙	飲酒	その他
男性	93	92	53	82	8	0	22
女性	56	54	34	52	7	0	2
全体	149	146	87	134	15	0	24

(16) 運動指導

人間ドックおよび特定健康診査受診者の中の希望者に対し、運動指導を実施していたが、コロナ禍以降の運動教室の再開に向けた開催方法を検討するため実施しなかった。

(17) 学生徒健診

本健診は、鶴岡市と三川町の学生徒を対象としている。

全ての項目において受診者数は前年度より減少している。

心電図検査は、小・中・高校ともに1年生全員の受診を原則としているが、それ以外の学年は学校で受診基準を決めている。

尿検査

単位：人 () 内%

区分		男 子		女 子		計	
		受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数
保育園 幼稚園	蛋白	92	0 (0.00)	87	0 (0.00)	179	0 (0.00)
	糖		0 (0.00)		0 (0.00)		0 (0.00)
	潜血		2 (2.17)		4 (4.60)		6 (3.35)
小学校	蛋白	2,872	10 (0.35)	2,909	16 (0.55)	5,781	26 (0.45)
	糖		2 (0.07)		2 (0.07)		4 (0.07)
	潜血		9 (0.31)		32 (1.10)		41 (0.71)
中学校	蛋白	1,666	52 (3.12)	1,570	27 (1.72)	3,236	79 (2.44)
	糖		4 (0.24)		3 (0.19)		7 (0.22)
	潜血		20 (1.20)		37 (2.36)		57 (1.76)
高校	蛋白	2,007	62 (3.09)	1,962	27 (1.38)	3,969	89 (2.24)
	糖		3 (0.15)		5 (0.25)		8 (0.20)
	潜血		3 (0.15)		53 (2.70)		56 (1.41)
計	蛋白	6,637	124 (1.87)	6,528	70 (1.07)	13,165	194 (1.47)
	糖		9 (0.14)		10 (0.15)		19 (0.14)
	潜血		34 (0.51)		126 (1.93)		160 (1.22)

蟻虫卵検査

単位：人 () 内%

区分		男 子		女 子		計	
		受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数
保育園 幼稚園		23	0 (0.0)	24	0 (0.0)	47	0 (0.0)

貧血検査

単位：人 () 内%

区分		男 子		女 子		計	
		受診者数	要精密検査	受診者数	要精密検査	受診者数	要精密検査
中学校		1,428	35 (2.5)	1,364	81 (5.9)	2,792	116 (4.2)
高校		463	7 (1.5)	373	14 (3.8)	836	21 (2.5)
計		1,891	42 (2.2)	1,737	95 (5.5)	3,628	137 (3.8)

心電図検査

<1年生>

単位：人 ()内%

区分	男 子				女 子				計			
	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定
小学校	432	413 (95.6)	6 (1.4)	13 (3.0)	447	417 (93.3)	3 (0.7)	27 (6.0)	879	830 (94.4)	9 (1.0)	40 (4.6)
中学校	509	474 (93.1)	10 (2.0)	25 (4.9)	531	501 (94.3)	10 (1.9)	20 (3.8)	1,040	975 (93.8)	20 (1.9)	45 (4.3)
高校	764	679 (88.9)	26 (3.4)	59 (7.7)	612	563 (92.0)	28 (4.6)	21 (3.4)	1,376	1,242 (90.3)	54 (3.9)	80 (5.8)
計	1,705	1,566 (91.8)	42 (2.5)	97 (5.7)	1,590	1,481 (93.1)	41 (2.6)	68 (4.3)	3,295	3,047 (92.5)	83 (2.5)	165 (5.0)

<その他>

単位：人 ()内%

区分	男 子				女 子				計			
	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定
小学校	91	86 (94.5)	1 (1.1)	4 (4.4)	76	70 (92.1)	2 (2.6)	4 (5.3)	167	156 (93.4)	3 (1.8)	8 (4.8)
中学校	80	61 (76.2)	5 (6.3)	14 (17.5)	56	52 (92.9)	0 (0.0)	4 (7.1)	136	113 (83.1)	5 (3.7)	18 (13.2)
高校	57	50 (87.7)	2 (3.5)	5 (8.8)	13	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	70	63 (90.0)	2 (2.9)	5 (7.1)
計	228	197 (86.4)	8 (3.5)	23 (10.1)	145	135 (93.1)	2 (1.4)	8 (5.5)	373	332 (89.0)	10 (2.7)	31 (8.3)

鶴岡市中学生胃がん予防事業

平成29年度より鶴岡市と鶴岡地区医師会が、鶴岡市の中学2年生を対象とした、学校尿検査検体でのピロリ検査・医療機関での二次検査と除菌治療を行っている。

本年度は在籍978人中、同意率72.1%の705人が「ピロリ抗体検査」を受診し32人が陽性となった。

(18) 一般健康診断（クリニック）

一般健康診断は毎月第2・第4水曜日の午後に実施しており、その内容は主として就職・進学のための健康診断である。本年度の受診者数は284人で、前年度255人より29人増加した。

(19) ストレスチェック

労働安全衛生法で従業員数50人以上の事業所において実施が義務付けられている。センターでは「職業性ストレス簡易調査票（57項目）」による調査票作成から判定・結果作成のほか、集団分析やセンター医師による面接なども行った。50人未満の事業所でも平成29年4月の改正により実施する事が出来るようになり対応した。

本年度は事業所の8,304人に実施し、前年度の7,461人より843人増加した。

(20) 風しん抗体検査

風しんの追加的対策（風しんの抗体検査及び予防接種法第5条第1項の規定に基づく風しんの第5期の定期接種）の実施にあたり、当センターでは人間ドック学会の集合契約に参加し平成31年4月～令和4年3月までの3年間、各種健康診断の際、市町村が発行したクーポン券を持参した方に対して風しん抗体検査（予防接種は実施せず）を実施した。クーポン券を使用した追加的対策は令和7年3月末まで延長されており、令和5年度の実施者数は31名であった。

(21) 受託検査

1) 一般臨床検査

本年度の依頼項目数は、210,957件で、前年度の250,470件より39,513件(15.8%)減少した。

なお、セット項目については分割し、単項目に振り分けた件数である。

検査項目		累計件数	検査項目		累計件数
生 化 学 検 査 I	総蛋白	7,941	血液 学 的 検 査	血液一般(5項目)	11,328
	アルブミン	8,504		赤血球沈降速度(赤沈)	88
	総ビリルビン	4,603		網状赤血球数	58
	直接ビリルビン	75		血液像	3,488
	尿素窒素	11,517		好酸球数(鼻汁)	17
	クレアチニン	15,080		ヘモグロビンA1c	6,102
	尿酸	6,712	尿 ・ 糞 便 等 検 査	一般定性	1,207
	AST(GOT)	14,800		沈渣	1,504
	ALT(GPT)	15,024		蛋白定量	173
	ALP	8,504		集卵法	0
	γ-GT	14,199		虫卵セロファン法	0
	LAP	26		便潜血免疫1日法	35
	コリンエステラーゼ	4,472		便潜血免疫2日法	494
	LDH	7,026		精液検査	5
	CPK	387	免疫 学 的 検 査	CRP(定量)	4,998
	血清アミラーゼ	369		RF	600
	中性脂肪	8,825		HBs抗原(ICA)	857
	総コレステロール	3,654		HBs抗原(CLEIA)	138
	HDL-コレステロール	7,128		HBs抗体(ICA)	34
	LDL-コレステロール	7,057		HBs抗体(CLEIA)	15
	Na・CI	8,009		HCV抗体(CLEIA)	1,016
	K	8,529		ABO式血液型	90
	Ca	4,694		Rh(D)血液型	90
	血清鉄	995		直接クームス試験	0
	フェリチン	484		間接クームス試験	0
	無機リン	2,388		交差試験	6
生 化 学 検 査 II	血糖	3,708		TP抗体	294
	尿糖	34		RPR(定性)	154
	Free-T3	730			
	Free-T4	870			
	TSH	907			
	CEA	316			
	AFP	103			
	PSA	627			

委託検査 一般

	検査項目	累計件数
委 託 檢 查	尿中アルブミン	131
	蛋白分画	149
	MMP-3	532
	TRACP-5b	348
	シスタチンC	78
	マグネシウム	274
	亜鉛	171
	TIBC	92
	CA 19-9	259
	BNP	689
	NT-proBNP	330
	PT	593
	APTT	267
	Dダイマー	189
	25OHビタミンD	104
	葉酸	145
	ビタミンB ₁₂	183
	非特異的 IgE	302
	MAST36	159
	total P1NP	203
	KL-6	171
	抗CCP抗体	136
	血清補体値	85
	C3	84
	C4	81
	HBV DNA (IU)	188
	尿素呼気試験	588
	抗ヘリコバクター・ピロリ抗体	45
	抗核抗体	267
	その他	2,896

委託検査 細菌

	検査項目	累計件数
一 般 細 菌	塗抹 グラム染色	99
	塗抹 KOH法 (真菌)	19
	同定培養 口腔・気道	160
	同定培養 消化器	51
	同定培養 泌尿器・生殖器	234
	同定培養 その他の部位	885
	嫌気培養加算	5

委託検査 細菌

	検査項目	累計件数
一 般 細 菌	大腸菌ベロドキシン	1
	大腸菌抗原同定	4
	ヘリコバクター培養	7
	ヘリコバクター感受性	0
	ディフィシル抗原	4
	感受性 (薬剤 1 菌種)	256
	感受性 (薬剤 2 菌種)	21
	感受性 (薬剤 3 菌種)	649
抗 酸 菌 群	塗抹 チールネルゼン法	13
	塗抹 融光法	11
	分離培養	26
	分離培養 (液体培地)	1
	核酸同定	1
	結核菌 感受性検査	1
	MRSA	645
	検便培養検査	76
保 菌 検 査	大腸菌 O157	59
	大腸菌血清型同定	1

委託検査 病理

	検査項目	累計件数
病 理 組 織	上部消化管	485
	下部消化管	584
	子宮腔部・頸部	187
	子宮内膜	8
	子宮内容物	63
	乳腺	5
	泌尿器	12
	皮膚・軟部組織	17
	口腔・歯科	2
	呼吸器系	0
細 胞 診	その他	39
	婦人科	2,537
	尿	691
	喀痰	32
	乳腺	39
	甲状腺	0
	体腔液	1
	その他	3

2) 共同利用検査

共同利用検査として、マンモグラフィ、X線撮影（胸部、腹部、骨の単純撮影）、CT内臓脂肪測定、骨密度測定、眼底検査、眼圧検査、心電図検査、肺機能検査、聴力検査を実施している。

本年度の受診者数は次のとおりである。

単位：人

	マンモ グラフィ	X線撮影	CT 内臓脂肪	骨密度	眼底	眼圧	心電図	肺機能	聴力
受診者数	213	91	0	35	68	0	0	0	0

3) 放射線漏洩線量測定

放射線管理区域（X線撮影室）の定期的な放射線漏洩線量測定については医療法施行規則で義務づけられており、当放射線係では平成19年より鶴岡・酒田両地区の登録医療機関より依頼を受けて本測定を実施している。

本年度の実施数は次のとおりである。

鶴岡地区		酒田地区	
施設数	測定回数	施設数	測定回数
43	84	3	6

※測定装置の貸出：鶴岡地区5件

4) 乳幼児健康診査

市町の3歳児健康診査における尿検査を受託している。本年度は鶴岡市および三川町で計34回、758人に実施した。

(22) 臨床検査精度管理調査

外部精度管理として、日本医師会精度管理調査をはじめ、日本臨床衛生検査技師会、山形県臨床検査技師会の臨床検査精度管理調査に参加している。日本医師会精度管理調査は、43項目に参加し、評価点数は99.5点であった。日本臨床衛生検査技師会、県臨床検査技師会においても良好な評価を得た。

[3] 令和5年度トピックス

1. 新オプション検査 Lox-index・アレルギー検査の導入

オプション検査として、Lox-index（脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査）とアレルギー検査（MAST48）を開始した。初年度は Lox-index が 1,050 件、アレルギー検査が 803 件であった。

2. 腹部超音波検査精度管理調査

全国労働衛生団体連合会精度管理事業の一環として実施している腹部超音波検査精度管理調査に参加し A 評価を得た。今後も評価を維持できるよう日々研鑽に努めていきたい。

3. マンモグラフィ読影の外部委託開始

読影体制の強化のため、センターで実施したマンモグラフィ読影の一部について、外部委託による読影を導入した。

4. 荘内地区健康管理センター40周年記念祝賀会

昭和 59 年 4 月の開所から 40 年が経過したことを記念して令和 6 年 3 月 15 日にグランドエルサンにおいて祝賀会を開催した。会員 28 名、職員 27 名が出席し盛会であった。

5. 新型コロナウイルスへの対応

令和 5 年 5 月 8 日に 5 類に移行されたことにより、入館前の検温や問診等を廃止するなど、健診時の対応の一部変更を行った。なお、その他の感染症対策のため、受診時のマスク着用、手指消毒や手洗い、換気等の基本的な感染対策は継続している。

[4] 令和5年度学術活動業績報告

第 61 回日本消化器がん検診学会 東北地方会（2023 年 12 月 2 日）

健診課 放射線技師 斎藤一広 （オンデマンド形式）

菅原望、奥山美佳、佐藤詩穂、土門祐介、佐藤沙弥香

佐藤貴也、斎藤幸恵、菅原翼、佐藤日出夫、五十嵐ちづる

渡邊秀平、南部知子、中村秀幸

演題名：「技師チェックによる再読影の検討」

[5] 鶴岡地区医師会 関連施設

一般社団法人 鶴岡地区医師会

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34		
連絡先	電話番号	0235-22-0136	FAX番号
ホームページアドレス	https://tsuruoka-med.jp/		
メールアドレス	ishikai@tsuruoka-med.jp		

地域医療連携室 ほたる

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34		
連絡先	電話番号	0235-29-3021	FAX番号
ホームページアドレス	https://www.tsuruoka-hotaru.net/		
メールアドレス	hotaru@tsuruoka-med.jp		

在宅サービスセンター

訪問看護ステーション ハローナース

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34		
連絡先	電話番号	0235-25-3055	FAX番号
ホームページアドレス	https://tsuruoka-zaitakusc.jp/		
メールアドレス	hellonrs@proof.ocn.ne.jp		

訪問入浴介護

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34		
連絡先	電話番号	0235-28-1584	FAX番号
ホームページアドレス	https://tsuruoka-zaitakusc.jp/		

ケアプランセンター ふきのとう

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34		
連絡先	電話番号	0235-29-1255	FAX番号
ホームページアドレス	https://tsuruoka-med.jp/kanren/fukinotou/		
メールアドレス	fukinotou@feel.ocn.ne.jp		

地域包括支援センター つくし

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34		
連絡先	電話番号	0235-29-1256	FAX番号
ホームページアドレス	https://tsuruoka-med.jp/kanren/tsukushi/		
メールアドレス	tsukushi@swan.ocn.ne.jp		

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

所在地	〒997-0752 鶴岡市湯田川字中田35-10		
連絡先	電話番号	0235-38-5151	FAX番号
ホームページアドレス	https://yutagawa-med.jp/		
メールアドレス	yutagawa@orion.ocn.ne.jp		

介護老人保健施設 みづばしょう

所在地	〒997-0157 鶴岡市羽黒町後田字谷地田191-4		
連絡先	電話番号	0235-78-0951	FAX番号
ホームページアドレス	https://www.tsuruoka-rm.jp/		
メールアドレス	mizubasho@world.ocn.ne.jp		